

新 (表紙)	旧 (表紙)
宇治市歴史的風致維持向上計画 平成 31 年 3 月 京都府宇治市	宇治市歴史的風致維持向上計画 平成 30 年 3 月 京都府宇治市

■新旧対照表

新(序章-6)			旧(序章-6)		
平成 26 年 3 月 19 日		○宇治市歴史的風致維持向上計画の軽微な変更届出	平成 26 年 3 月 19 日		○宇治市歴史的風致維持向上計画の軽微な変更届出
平成 26 年 5 月 23 日	平成 26 年度 第 1 回 歴史まちづくり推進 調整会議	【内 容】 ○歴史的風致維持向上計画の変更について ○歴史的風致維持向上計画の進捗評価について ○歴史的風致の維持向上に資する事業の充実について	平成 26 年 5 月 23 日	平成 26 年度 第 1 回 歴史まちづくり推進 調整会議	【内 容】 ○歴史的風致維持向上計画の変更について ○歴史的風致維持向上計画の進捗評価について ○歴史的風致の維持向上に資する事業の充実について
平成 26 年 6 月 2 日	平成 26 年度 第 1 回 歴史的風致維持向上 協議会（法定協議会）		平成 26 年 6 月 2 日	平成 26 年度 第 1 回 歴史的風致維持向上 協議会（法定協議会）	
平成 26 年 8 月 5 日	平成 26 年度 第 2 回 歴史まちづくり推進 調整会議	【内 容】 ○前回協議会の議事内容について ○歴史的風致維持向上計画に追加する事業メニューの抽出 について ○パブリックコメントの進め方について	平成 26 年 8 月 5 日	平成 26 年度 第 2 回 歴史まちづくり推進 調整会議	【内 容】 ○前回協議会の議事内容について ○歴史的風致維持向上計画に追加する事業メニューの抽出 について ○パブリックコメントの進め方について
平成 26 年 9 月 12 日	平成 26 年度 第 2 回 歴史的風致維持向上 協議会（法定協議会）		平成 26 年 9 月 12 日	平成 26 年度 第 2 回 歴史的風致維持向上 協議会（法定協議会）	
平成 26 年 10 月 27 日 ～ 平成 26 年 11 月 26 日	市民意見募集 （パブリックコメント）	【内 容】 ○宇治市歴史的風致維持向上計画（変更素案）について 【意見提出】 10 名 32 件	平成 26 年 10 月 27 日 ～ 平成 26 年 11 月 26 日	市民意見募集 （パブリックコメント）	【内 容】 ○宇治市歴史的風致維持向上計画（変更素案）について 【意見提出】 10 名 32 件
平成 27 年 1 月 27 日	平成 26 年度 第 3 回 歴史まちづくり推進 調整会議	【内 容】 ○（仮称）宇治川太閤堤跡歴史公園整備とその周辺のまち づくりについての市民意見の募集結果について ○歴史的風致維持向上計画（変更案）について ○歴史的風致維持向上計画の事業の進捗状況について	平成 27 年 1 月 27 日	平成 26 年度 第 3 回 歴史まちづくり推進 調整会議	【内 容】 ○（仮称）宇治川太閤堤跡歴史公園整備とその周辺のまち づくりについての市民意見の募集結果について ○歴史的風致維持向上計画（変更案）について ○歴史的風致維持向上計画の事業の進捗状況について
平成 27 年 2 月 9 日	平成 26 年度 第 3 回 歴史的風致維持向上 協議会（法定協議会）		平成 27 年 2 月 9 日	平成 26 年度 第 3 回 歴史的風致維持向上 協議会（法定協議会）	
平成 27 年 3 月 16 日		○国土交通大臣、文部科学大臣、農林水産大臣に対し、 宇治市歴史的風致維持向上計画の変更認定申請	平成 27 年 3 月 16 日		○国土交通大臣、文部科学大臣、農林水産大臣に対し、 宇治市歴史的風致維持向上計画の変更認定申請
平成 27 年 3 月 27 日		○宇治市歴史的風致維持向上計画の変更認定	平成 27 年 3 月 27 日		○宇治市歴史的風致維持向上計画の変更認定
平成 27 年 5 月 11 日	平成 27 年度 第 1 回 歴史的風致維持向上 協議会（法定協議会）	【内 容】 ○歴史的風致維持向上計画の変更認定について ○歴史的風致維持向上計画の進捗評価について ○今年度事業等についての意見交換	平成 27 年 5 月 11 日	平成 27 年度 第 1 回 歴史的風致維持向上 協議会（法定協議会）	【内 容】 ○歴史的風致維持向上計画の変更認定について ○歴史的風致維持向上計画の進捗評価について ○今年度事業等についての意見交換
平成 28 年 3 月 30 日		○宇治市歴史的風致維持向上計画の軽微な変更届出	平成 28 年 3 月 30 日		○宇治市歴史的風致維持向上計画の軽微な変更届出
平成 28 年 5 月 23 日	平成 28 年度 第 1 回 歴史的風致維持向上 協議会（法定協議会）	【内 容】 ○歴史的風致維持向上計画の進捗管理・評価について ○歴史的風致維持向上計画の軽微な変更について	平成 28 年 5 月 23 日	平成 28 年度 第 1 回 歴史的風致維持向上 協議会（法定協議会）	【内 容】 ○歴史的風致維持向上計画の進捗管理・評価について ○歴史的風致維持向上計画の軽微な変更について
平成 29 年 3 月 30 日		○宇治市歴史的風致維持向上計画の軽微な変更届出	平成 29 年 3 月 30 日		○宇治市歴史的風致維持向上計画の軽微な変更届出
平成 29 年 4 月 28 日	平成 29 年度 第 1 回 歴史的風致維持向上 協議会（法定協議会）	【内 容】 ○平成 28 年度の主な事業内容の報告について ○歴史的風致維持向上計画の進捗管理・評価について ○歴史的風致維持向上計画の軽微な変更について	平成 29 年 4 月 28 日	平成 29 年度 第 1 回 歴史的風致維持向上 協議会（法定協議会）	【内 容】 ○平成 28 年度の主な事業内容の報告について ○歴史的風致維持向上計画の進捗管理・評価について ○歴史的風致維持向上計画の軽微な変更について
平成 30 年 3 月 23 日		○宇治市歴史的風致維持向上計画の軽微な変更届出			
平成 30 年 5 月 18 日	平成 30 年度 第 1 回 歴史的風致維持向上 協議会（法定協議会）	【内 容】 ○平成 29 年度の主な事業内容の報告について ○歴史的風致維持向上計画の進捗管理・評価について ○歴史的風致維持向上計画の軽微な変更について			

■新旧対照表

新(第1章-17)

年 代	事 項
1596 慶長元	・大地震によって伏見城が破壊し、宇治付近が災害を受けた
1599 " 4	・この年、家康が宇治橋を造営した
1606 " 11	・宇治郷代官上林久茂没し、徳順勝永がその職を継いだ
1623 元和9	・三室・志津川の両村が、禁裏御料となった
1633 寛永10	・幕府が徒歩頭に宇治採茶使を命じた（御茶壺道中の開始）
1636 " 13	・上林峯順らが奉行となり、宇治橋が造替された
1648 慶安元	・淀城主永井尚政が、宇治に興聖寺を建立した
1661 寛文元	・萬福寺の造営が開始され、隠元が入寺した
1698 元禄11	・宇治郷に大火があり茶園10町・家屋550余戸が焼け、平等院大門・藏勝庵など類焼した
1719 享保4	・宇治郷代官上林門太郎が改易（享保6年に赦免される）
1738 元文3	・永谷宗円が、宇治製煎茶の製法を発明した
1743 寛保3	・上林氏による宇治郷支配が中断した
1756 宝暦6	・宇治川大洪水、浮島十三重塔が倒れ、観流亭・橋姫社・上林門太郎屋敷などが流失した
1800 寛政12	・上林六郎久忠が宇治郷代官となり、上林家による統轄が復活した
1818 文政元	・三室戸寺本堂が造替され、本尊の開帳が行われた
1835 天保6	・このころ、市内の各地で玉露が創製された
1843 " 14	・上林久賢が代官を免じられ、宇治郷支配が上林氏の手から離れた
1867 安政3	・幕府が宇治の天領を禁裏御所御料に振り替えた
1869 明治2	・上林家が知行地を京都府に引き渡した
1872 " 5	・五ヶ庄村に火薬庫が設けられ、火薬の移送が開始された
1874 " 7	・淀川改修工事が開始された（明治21年終了）
1881 " 14	・宇治郷の中心部を宇治町と呼ぶことに改められた
1888 " 21	・市町村制が公布され、宇治市域の19町村が1町5村に統合された
1896 " 29	・奈良鉄道の桃山・玉水間が開通し、木幡・宇治・新田の各駅が設けられた
" "	・再び淀川改修工事が始められた（明治43年完工）
1905 " 38	・平等院鳳凰堂の修理が始められた（明治41年竣工）
1907 " 40	・福田海によって浮島十三重塔の復元が着手された（明治41年完成）
1911 " 44	・南郷・宇治間の宇治川に通航が開始された（大正9年まで継続）
1913 大正2	・京阪電鉄（株）宇治線が開通し、宇治町が町営電気事業の営業を開始した
1924 " 13	・大峰ダムが竣工し、志津川発電所が送電を開始した
1925 " 14	・宇治町に京都府茶業研究所が設立された
1926 " 15	・日本レイヨン（株）が創立された
1928 昭和3	・奈良電鉄（現近鉄京都線）が開通した
1933 " 8	・巨椋池干拓事業の起工式が行われた（昭和16年完成）
1936 " 11	・宇治橋が鉄筋コンクリートの永久橋として架設された
1943 " 18	・宇治町営電気事業が関西配電（株）に統合された
1951 " 26	・宇治市が誕生した。人口38,231人
1953 " 28	・豪雨により宇治川左岸が決壊、巨椋池干拓地一帯が浸水した
1957 " 32	・昭和25年から行われていた平等院鳳凰堂の解体修理が竣工した
1964 " 39	・天ヶ瀬ダムが竣工した
1967 " 42	・喜撰山揚水ダム工事が始まった（昭和45年完成、発電開始）
1988 " 63	・国道1号京滋バイパスが開通し、市内に4つのインターチェンジが整備された
1994 平成6	・平等院、宇治上神社が世界遺産登録された
1996 " 8	・歩道の整備等道路拡幅のため、宇治橋が架け替えられた
1998 " 10	・源氏物語ミュージアムが開館した
2001 " 13	・J R奈良線宇治駅－新田駅間が複線化された
2004 " 16	・京都市営地下鉄東西線が宇治市六地藏まで延伸し、地下鉄六地藏駅が開業した
2009 " 21	・宇治の文化的景観が重要文化的景観に選定された
" "	・宇治川太閤堤跡が国史跡に指定された
2015 " 27	・「日本茶800年の歴史散歩」が日本遺産に認定された
2017 " 29	・松殿山荘の建造物12棟が重要文化財に指定された
2018 " 30	・宇治古墳群（二子山古墳・二子塚古墳）が国史跡に指定された
" "	・宇治山が名勝に指定された

旧(第1章-17)

年 代	事 項
1596 慶長元	・大地震によって伏見城が破壊し、宇治付近が災害を受けた
1599 " 4	・この年、家康が宇治橋を造営した
1606 " 11	・宇治郷代官上林久茂没し、徳順勝永がその職を継いだ
1623 元和9	・三室・志津川の両村が、禁裏御料となった
1633 寛永10	・幕府が徒歩頭に宇治採茶使を命じた（御茶壺道中の開始）
1636 " 13	・上林峯順らが奉行となり、宇治橋が造替された
1648 慶安元	・淀城主永井尚政が、宇治に興聖寺を建立した
1661 寛文元	・萬福寺の造営が開始され、隠元が入寺した
1698 元禄11	・宇治郷に大火があり茶園10町・家屋550余戸が焼け、平等院大門・藏勝庵など類焼した
1719 享保4	・宇治郷代官上林門太郎が改易（享保6年に赦免される）
1738 元文3	・永谷宗円が、宇治製煎茶の製法を発明した
1743 寛保3	・上林氏による宇治郷支配が中断した
1756 宝暦6	・宇治川大洪水、浮島十三重塔が倒れ、観流亭・橋姫社・上林門太郎屋敷などが流失した
1800 寛政12	・上林六郎久忠が宇治郷代官となり、上林家による統轄が復活した
1818 文政元	・三室戸寺本堂が造替され、本尊の開帳が行われた
1835 天保6	・このころ、市内の各地で玉露が創製された
1843 " 14	・上林久賢が代官を免じられ、宇治郷支配が上林氏の手から離れた
1867 安政3	・幕府が宇治の天領を禁裏御所御料に振り替えた
1869 明治2	・上林家が知行地を京都府に引き渡した
1872 " 5	・五ヶ庄村に火薬庫が設けられ、火薬の移送が開始された
1874 " 7	・淀川改修工事が開始された（明治21年終了）
1881 " 14	・宇治郷の中心部を宇治町と呼ぶことに改められた
1888 " 21	・市町村制が公布され、宇治市域の19町村が1町5村に統合された
1896 " 29	・奈良鉄道の桃山・玉水間が開通し、木幡・宇治・新田の各駅が設けられた
" "	・再び淀川改修工事が始められた（明治43年完工）
1905 " 38	・平等院鳳凰堂の修理が始められた（明治41年竣工）
1907 " 40	・福田海によって浮島十三重塔の復元が着手された（明治41年完成）
1911 " 44	・南郷・宇治間の宇治川に通航が開始された（大正9年まで継続）
1913 大正2	・京阪電鉄（株）宇治線が開通し、宇治町が町営電気事業の営業を開始した
1924 " 13	・大峰ダムが竣工し、志津川発電所が送電を開始した
1925 " 14	・宇治町に京都府茶業研究所が設立された
1926 " 15	・日本レイヨン（株）が創立された
1928 昭和3	・奈良電鉄（現近鉄京都線）が開通した
1933 " 8	・巨椋池干拓事業の起工式が行われた（昭和16年完成）
1936 " 11	・宇治橋が鉄筋コンクリートの永久橋として架設された
1943 " 18	・宇治町営電気事業が関西配電（株）に統合された
1951 " 26	・宇治市が誕生した。人口38,231人
1953 " 28	・豪雨により宇治川左岸が決壊、巨椋池干拓地一帯が浸水した
1957 " 32	・昭和25年から行われていた平等院鳳凰堂の解体修理が竣工した
1964 " 39	・天ヶ瀬ダムが竣工した
1967 " 42	・喜撰山揚水ダム工事が始まった（昭和45年完成、発電開始）
1988 " 63	・国道1号京滋バイパスが開通し、市内に4つのインターチェンジが整備された
1994 平成6	・平等院、宇治上神社が世界遺産登録された
1996 " 8	・歩道の整備等道路拡幅のため、宇治橋が架け替えられた
1998 " 10	・源氏物語ミュージアムが開館した
2001 " 13	・J R奈良線宇治駅－新田駅間が複線化された
2004 " 16	・京都市営地下鉄東西線が宇治市六地藏まで延伸し、地下鉄六地藏駅が開業した
2009 " 21	・宇治の文化的景観が重要文化的景観に選定された
" "	・宇治川太閤堤跡が国史跡に指定された

新(第1章-22)

4. 宇治の文化財と文化

4-1 宇治の文化財

宇治川を中心とした歴史が続く本市では、世界遺産の平等院や宇治上神社を含む多くの文化財が存在している。平成 31 年 3 月末現在、本市には国指定・選定の文化財が 56 件あり、そのうち国宝が 9 件含まれる。京都府指定・登録文化財は 29 件、宇治市指定文化財は 56 件ある。

このほかに、文化財を支える技術（選定保存技術）や、文化財の周辺環境の開発を規制する区域（文化財環境保全地区）の設定など、文化財の継承に必要な技術や環境の保護も、同時に取り組んでいる。

表 1-6 文化財件数（平成 31 年 3 月末現在）

	区分	種類	国指定・選定 () は国宝数	府指定・登録 () は登録数	市指定	合計
文化財の 類型	有形 文化財	建造物	14 (3)	14 (3)	4	32
		美術工芸品	34 (6)	9	47	90
	無形文化財		1	0	1	2
	民俗文化財		0	1	1	2
	記念物	史 跡	4	1	2	7
		名 勝	2	4	0	6
		天然記念物	0	0	1	1
		文化的景観	1			1
	合 計		56 (9)	29 (3)	56	141
	その他		1			1

※府指定・登録された有形文化財・記念物の保存のために、土地の区画・形質の変更や木竹の伐採などを規制する地区

（1）国指定・選定の文化財

本市における国指定文化財の特徴として、平安時代の王朝文化を伝える文化財がまとまっていることがあげられる。国宝の平等院鳳凰堂や宇治上神社本殿・拝殿は、平安時代を代表する文化財として全国的に知られている。また内訳をみると国指定文化財で最も多い美術工芸品は、平等院や白川地蔵院などの寺社が所蔵する平安時代の仏像などが主だったものである。

中世の建造物の例をあげると、重要文化財十八神社本殿はもとは三室戸寺の守護神であったといい、明応 3 年（1494）の建築である。重要文化財許波多神社本殿は、内陣厨子の墨書銘によって永禄 5 年（1562）に楊大明神として建立されたことが分かる。重要文化財浄土院養林庵書院は、伏見城の遺構と伝わるもので、藤花の透板彫の雄大な意匠の欄間が桃山時代の芸術性を物語っている。

また近年の指定（選定）事例には、重要文化的景観である宇治の文化的景観や史跡宇治川太閤堤跡があり、追加指定（選定）のための調査も継続中である。

旧(第1章-22)

4. 宇治の文化財と文化

4-1 宇治の文化財

宇治川を中心とした歴史が続く本市では、世界遺産の平等院や宇治上神社を含む多くの文化財が存在している。平成 23 年 4 月現在、本市には国指定・選定の文化財が 53 件あり、そのうち国宝が 9 件含まれる。京都府指定・登録文化財は 23 件、宇治市指定文化財は 54 件ある。

このほかに、文化財を支える技術（選定保存技術）や、文化財の周辺環境の開発を規制する区域（文化財環境保全地区）の設定など、文化財の継承に必要な技術や環境の保護も、同時に取り組んでいる。

表 1-6 文化財件数（平成 23 年 4 月現在）

	区分	種類	国指定・選定 () は国宝数	府指定・登録 () は登録数	市指定	合計
文化財の 類型	有形 文化財	建造物	13 (3)	10 (3)	4	27
		美術工芸品	34 (6)	9	47	90
	無形文化財		1	0	1	2
	民俗文化財		0	1	0	1
	記念物	史 跡	3	1	1	5
		名 勝	1	2	0	3
		天然記念物	0	0	1	1
		文化的景観	1			1
	合 計		53 (9)	23 (3)	54	130
	その他		1			1

※府指定・登録された有形文化財・記念物の保存のために、土地の区画・形質の変更や木竹の伐採などを規制する地区

（1）国指定・選定の文化財

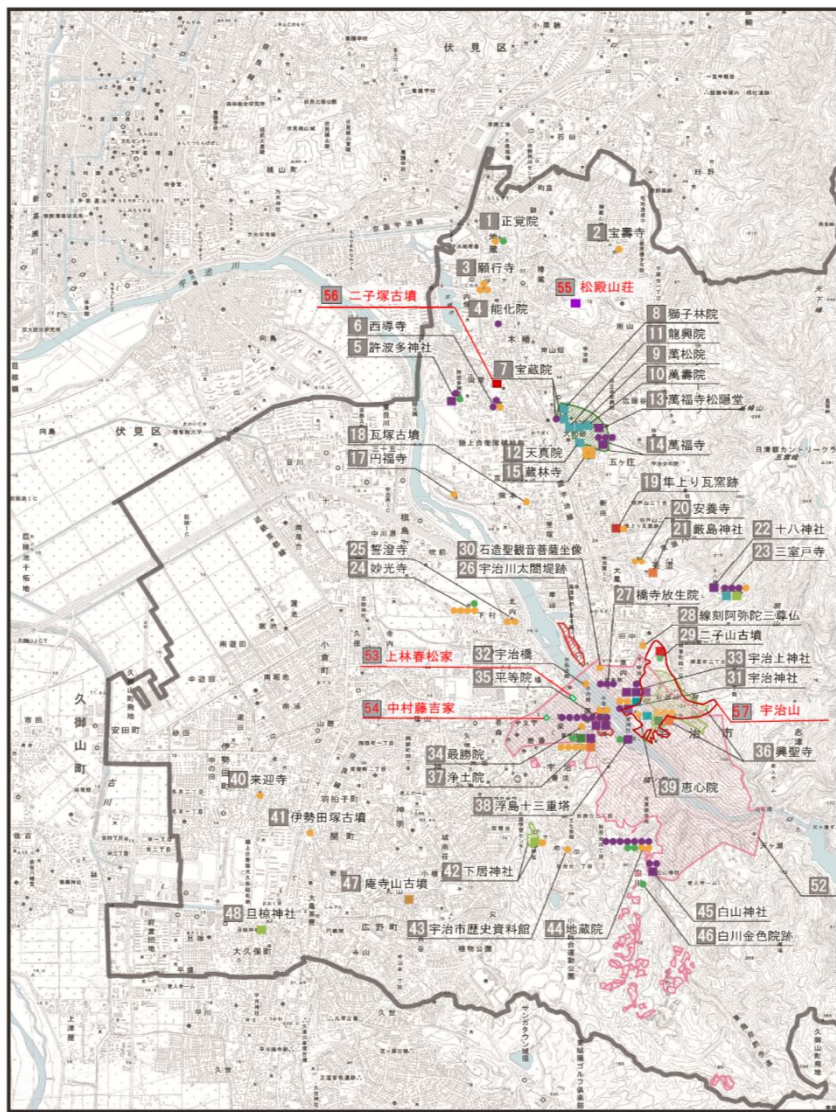
本市における国指定文化財の特徴として、平安時代の王朝文化を伝える文化財がまとまっていることがあげられる。国宝の平等院鳳凰堂や宇治上神社本殿・拝殿は、平安時代を代表する文化財として全国的に知られている。また内訳をみると国指定文化財で最も多い美術工芸品は、平等院や白川地蔵院などの寺社が所蔵する平安時代の仏像などが主だったものである。

中世の建造物の例をあげると、重要文化財十八神社本殿はもとは三室戸寺の守護神であったといい、明応 3 年（1494）の建築である。重要文化財許波多神社本殿は、内陣厨子の墨書銘によって永禄 5 年（1562）に楊大明神として建立されたことが分かる。重要文化財浄土院養林庵書院は、伏見城の遺構と伝わるもので、藤花の透板彫の雄大な意匠の欄間が桃山時代の芸術性を物語っている。

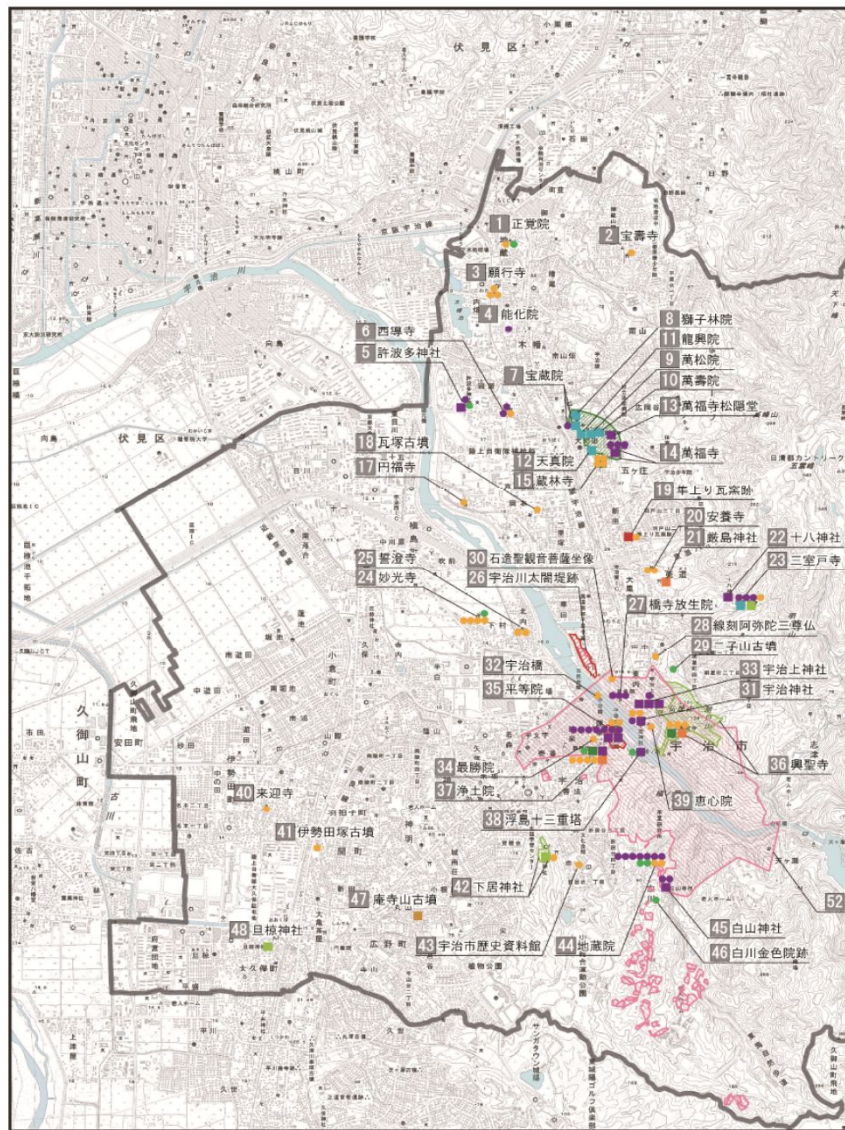
また近年の指定（選定）事例には、重要文化的景観である宇治の文化的景観や史跡宇治川太閤堤跡があり、追加指定（選定）のための調査も継続中である。

■新旧対照表

新(第1章-26)



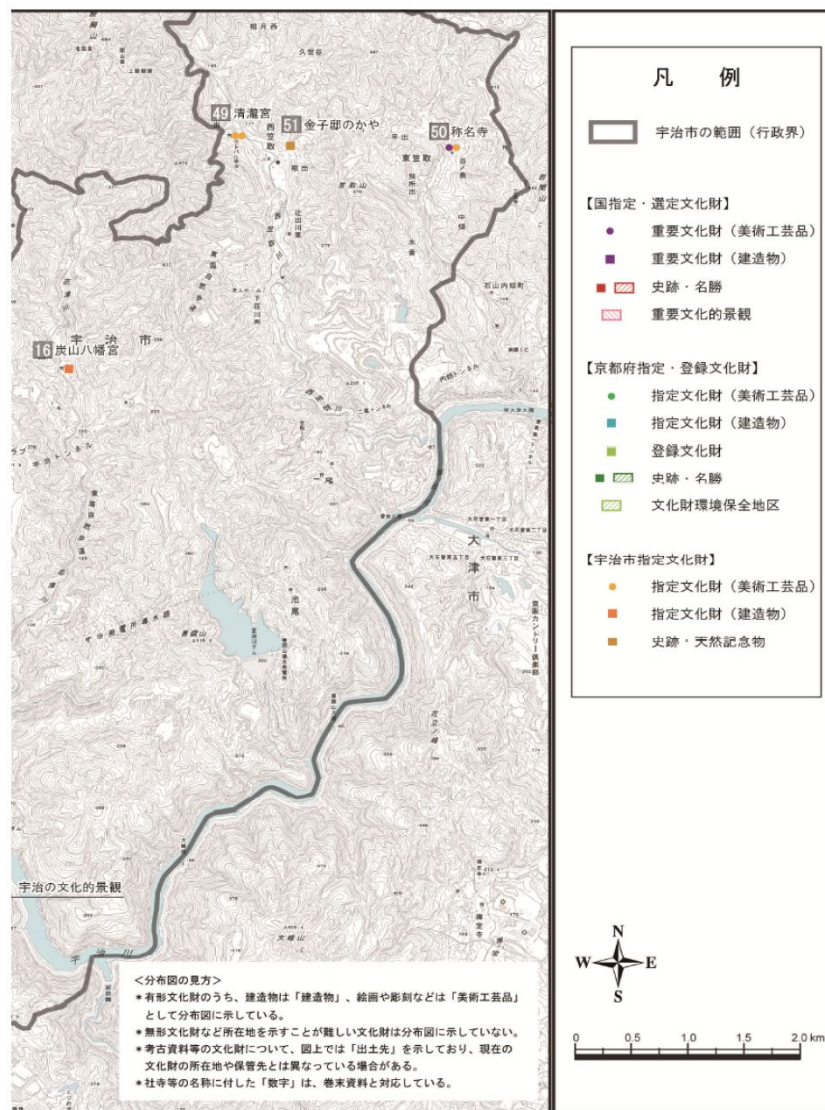
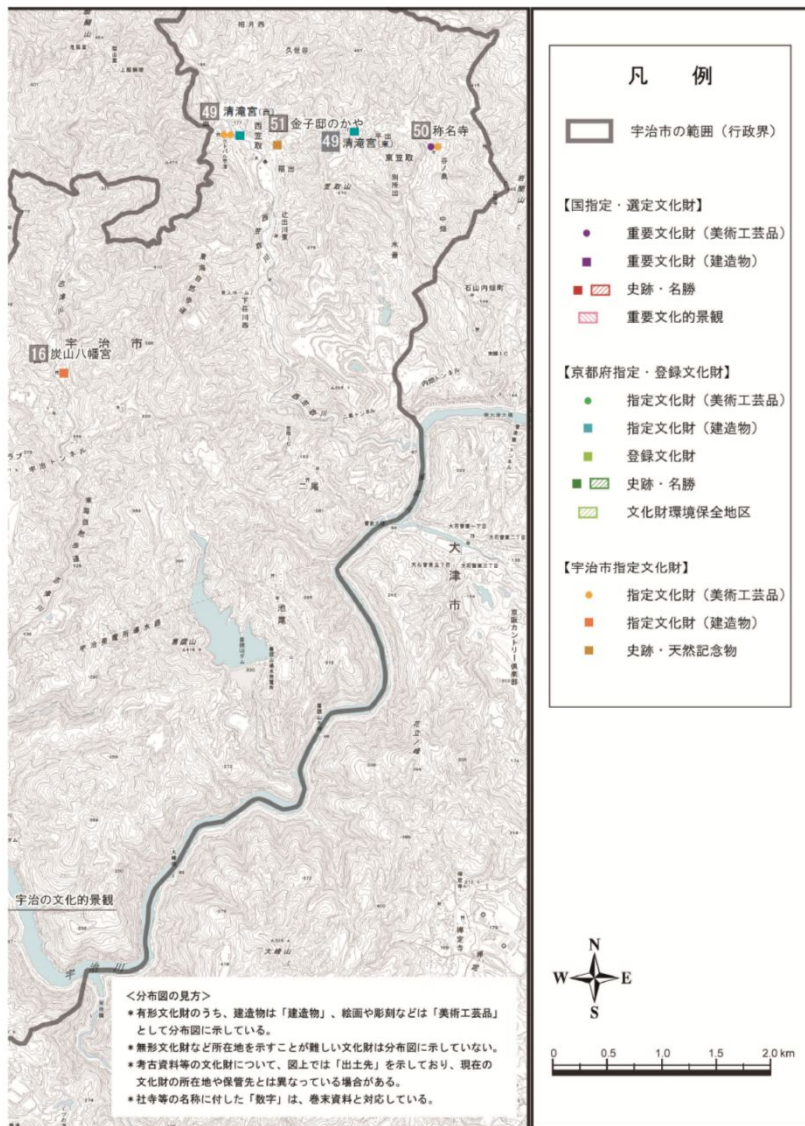
旧(第1章-26)



■新旧対照表

新(第1章-27)

旧(第1章-27)



■新旧对照表

新 (第2章-37)

[illegible]

目 (第2章-37)

時代区分	古 代					中 世					近 世					近 代	
	～ 8c	8c	9c	11c	11c	11c	14c	15c	16c	17c	18c	18c	19c	20c	21c		
年 代	推古天皇元年 701年 大化元年 702年 大化2年 703年 大化3年 704年 大化4年 705年 大化5年 706年 大化6年 707年 大化7年 708年 大化8年 709年 大化9年 710年 大化10年 711年 大化11年 712年 大化12年 713年 大化13年 714年 大化14年 715年 大化15年 716年 大化16年 717年 大化17年 718年 大化18年 719年 大化19年 720年 大化20年 721年 大化21年 722年 大化22年 723年 大化23年 724年 大化24年 725年 大化25年 726年 大化26年 727年 大化27年 728年 大化28年 729年 大化29年 730年 大化30年 731年 大化31年 732年 大化32年 733年 大化33年 734年 大化34年 735年 大化35年 736年 大化36年 737年 大化37年 738年 大化38年 739年 大化39年 740年 大化40年 741年 大化41年 742年 大化42年 743年 大化43年 744年 大化44年 745年 大化45年 746年 大化46年 747年 大化47年 748年 大化48年 749年 大化49年 750年 大化50年 751年 大化51年 752年 大化52年 753年 大化53年 754年 大化54年 755年 大化55年 756年 大化56年 757年 大化57年 758年 大化58年 759年 大化59年 760年 大化60年 761年 大化61年 762年 大化62年 763年 大化63年 764年 大化64年 765年 大化65年 766年 大化66年 767年 大化67年 768年 大化68年 769年 大化69年 770年 大化70年 771年 大化71年 772年 大化72年 773年 大化73年 774年 大化74年 775年 大化75年 776年 大化76年 777年 大化77年 778年 大化78年 779年 大化79年 780年 大化80年 781年 大化81年 782年 大化82年 783年 大化83年 784年 大化84年 785年 大化85年 786年 大化86年 787年 大化87年 788年 大化88年 789年 大化89年 790年 大化90年 791年 大化91年 792年 大化92年 793年 大化93年 794年 大化94年 795年 大化95年 796年 大化96年 797年 大化97年 798年 大化98年 799年 大化99年 800年 大化100年 801年 大化101年 802年 大化102年 803年 大化103年 804年 大化104年 805年 大化105年 806年 大化106年 807年 大化107年 808年 大化108年 809年 大化109年 810年 大化110年 811年 大化111年 812年 大化112年 813年 大化113年 814年 大化114年 815年 大化115年 816年 大化116年 817年 大化117年 818年 大化118年 819年 大化119年 820年 大化120年 821年 大化121年 822年 大化122年 823年 大化123年 824年 大化124年 825年 大化125年 826年 大化126年 827年 大化127年 828年 大化128年 829年 大化129年 830年 大化130年 831年 大化131年 832年 大化132年 833年 大化133年 834年 大化134年 835年 大化135年 836年 大化136年 837年 大化137年 838年 大化138年 839年 大化139年 840年 大化140年 841年 大化141年 842年 大化142年 843年 大化143年 844年 大化144年 845年 大化145年 846年 大化146年 847年 大化147年 848年 大化148年 849年 大化149年 850年 大化150年 851年 大化151年 852年 大化152年 853年 大化153年 854年 大化154年 855年 大化155年 856年 大化156年 857年 大化157年 858年 大化158年 859年 大化159年 860年 大化160年 861年 大化161年 862年 大化162年 863年 大化163年 864年 大化164年 865年 大化165年 866年 大化166年 867年 大化167年 868年 大化168年 869年 大化169年 870年 大化170年 871年 大化171年 872年 大化172年 873年 大化173年 874年 大化174年 875年 大化175年 876年 大化176年 877年 大化177年 878年 大化178年 879年 大化179年 880年 大化180年 881年 大化181年 882年 大化182年 883年 大化183年 884年 大化184年 885年 大化185年 886年 大化186年 887年 大化187年 888年 大化188年 889年 大化189年 890年 大化190年 891年 大化191年 892年 大化192年 893年 大化193年 894年 大化194年 895年 大化195年 896年 大化196年 897年 大化197年 898年 大化198年 899年 大化199年 900年 大化200年 901年 大化201年 902年 大化202年 903年 大化203年 904年 大化204年 905年 大化205年 906年 大化206年 907年 大化207年 908年 大化208年 909年 大化209年 910年 大化210年 911年 大化211年 912年 大化212年 913年 大化213年 914年 大化214年 915年 大化215年 916年 大化216年 917年 大化217年 918年 大化218年 919年 大化219年 920年 大化220年 921年 大化221年 922年 大化222年 923年 大化223年 924年 大化224年 925年 大化225年 926年 大化226年 927年 大化227年 928年 大化228年 929年 大化229年 930年 大化230年 931年 大化231年 932年 大化232年 933年 大化233年 934年 大化234年 935年 大化235年 936年 大化236年 937年 大化237年 938年 大化238年 939年 大化239年 940年 大化240年 941年 大化241年 942年 大化242年 943年 大化243年 944年 大化244年 945年 大化245年 946年 大化246年 947年 大化247年 948年 大化248年 949年 大化249年 950年 大化250年 951年 大化251年 952年 大化252年 953年 大化253年 954年 大化254年 955年 大化255年 956年 大化256年 957年 大化257年 958年 大化258年 959年 大化259年 960年 大化260年 961年 大化261年 962年 大化262年 963年 大化263年 964年 大化264年 965年 大化265年 966年 大化266年 967年 大化267年 968年 大化268年 969年 大化269年 970年 大化270年 971年 大化271年 972年 大化272年 973年 大化273年 974年 大化274年 975年 大化275年 976年 大化276年 977年 大化277年 978年 大化278年 979年 大化279年 980年 大化280年 981年 大化281年 982年 大化282年 983年 大化283年 984年 大化284年 985年 大化285年 986年 大化286年 987年 大化287年 988年 大化288年 989年 大化289年 990年 大化290年 991年 大化291年 992年 大化292年 993年 大化293年 994年 大化294年 995年 大化295年 996年 大化296年 997年 大化297年 998年 大化298年 999年 大化299年 1000年 大化300年 1001年 大化301年 1002年 大化302年 1003年 大化303年 1004年 大化304年 1005年 大化305年 1006年 大化306年 1007年 大化307年 1008年 大化308年 1009年 大化309年 1010年 大化310年 1011年 大化311年 1012年 大化312年 1013年 大化313年 1014年 大化314年 1015年 大化315年 1016年 大化316年 1017年 大化317年 1018年 大化318年 1019年 大化319年 1020年 大化320年 1021年 大化321年 1022年 大化322年 1023年 大化323年 1024年 大化324年 1025年 大化325年 1026年 大化326年 1027年 大化327年 1028年 大化328年 1029年 大化329年 1030年 大化330年 1031年 大化331年 1032年 大化332年 1033年 大化333年 1034年 大化334年 1035年 大化335年 1036年 大化336年 1037年 大化337年 1038年 大化338年 1039年 大化339年 1040年 大化340年 1041年 大化341年 1042年 大化342年 1043年 大化343年 1044年 大化344年 1045年 大化345年 1046年 大化346年 1047年 大化347年 1048年 大化348年 1049年 大化349年 1050年 大化350年 1051年 大化351年 1052年 大化352年 1053年 大化353年 1054年 大化354年 1055年 大化355年 1056年 大化356年 1057年 大化357年 1058年 大化358年 1059年 大化359年 1060年 大化360年 1061年 大化361年 1062年 大化362年 1063年 大化363年 1064年 大化364年 1065年 大化365年 1066年 大化366年 1067年 大化367年 1068年 大化368年 1069年 大化369年 1070年 大化370年 1071年 大化371年 1072年 大化372年 1073年 大化373年 1074年 大化374年 1075年 大化375年 1076年 大化376年 1077年 大化377年 1078年 大化378年 1079年 大化379年 1080年 大化380年 1081年 大化381年 1082年 大化382年 1083年 大化383年 1084年 大化384年 1085年 大化385年 1086年 大化386年 1087年 大化387年 1088年 大化388年 1089年 大化389年 1090年 大化390年 1091年 大化391年 1092年 大化392年 1093年 大化393年 1094年 大化394年 1095年 大化395年 1096年 大化396年 1097年 大化397年 1098年 大化398年 1099年 大化399年 1100年 大化400年 1101年 大化401年 1102年 大化402年 1103年 大化403年 1104年 大化404年 1105年 大化405年 1106年 大化406年 1107年 大化407年 1108年 大化408年 1109年 大化409年 1110年 大化410年 1111年 大化411年 1112年 大化412年 1113年 大化413年 1114年 大化414年 1115年 大化415年 1116年 大化416年 1117年 大化417年 1118年 大化418年 1119年 大化419年 1120年 大化420年 1121年 大化421年 1122年 大化422年 1123年 大化423年 1124年 大化424年 1125年 大化425年 1126年 大化426年 1127年 大化427年 1128年 大化428年 1129年 大化429年 1130年 大化430年 1131年 大化431年 1132年 大化432年 1133年 大化433年 1134年 大化434年 1135年 大化435年 1136年 大化436年 1137年 大化437年 1138年 大化438年 1139年 大化439年 1140年 大化440年 1141年 大化441年 1142年 大化442年 1143年 大化443年 1144年 大化444年 1145年 大化445年 1146年 大化446年 1147年 大化447年 1148年 大化448年 1149年 大化449年 1150年 大化450年 1151年 大化451年 1152年 大化452年 1153年 大化453年 1154年 大化454年 1155年 大化455年 1156年 大化456年 1157年 大化457年 1158年 大化458年 1159年 大化459年 1160年 大化460年 1161年 大化461年 1162年 大化462年 1163年 大化463年 1164年 大化464年 1165年 大化465年 1166年 大化466年 1167年 大化467年 1168年 大化468年 1169年 大化469年 1170年 大化470年 1171年 大化471年 1172年 大化472年 1173年 大化473年 1174年 大化474年 1175年 大化475年 1176年 大化476年 1177年 大化477年 1178年 大化478年 1179年 大化479年 1180年 大化480年 1181年 大化481年 1182年 大化482年 1183年 大化483年 1184年 大化484年 1185年 大化485年 1186年 大化486年 1187年 大化487年 1188年 大化488年 1189年 大化489年 1190年 大化490年 1191年 大化491年 1192年 大化492年 1193年 大化493年 1194年 大化494年 1195年 大化495年 1196年 大化496年 1197年 大化497年 1198年 大化498年 1199年 大化499年 1200年 大化500年 1201年 大化501年 1202年 大化502年 1203年 大化503年 1204年 大化504年 1205年 大化505年 1206年 大化506年 1207年 大化507年 1208年 大化508年 1209年 大化509年 1210年 大化510年 1211年 大化511年 1212年 大化512年 1213年 大化513年 1214年 大化514年 1215年 大化515年 1216年 大化516年 1217年 大化517年 1218年 大化518年 1219年 大化519年 1220年 大化520年 1221年 大化521年 1222年 大化522年 1223年 大化523年 1224年 大化524年 1225年 大化525年 1226年 大化526年 1227年 大化527年 1228年 大化528年 1229年 大化529年 1230年 大化530年 1231年 大化531年 1232年 大化532年 1233年 大化533年 1234年 大化534年 1235年 大化535年 1236年 大化536年 1237年 大化537年 1238年 大化538年 1239年 大化539年 1240年 大化540年 1241年 大化541年 1242年 大化542年 1243年 大化543年 1244年 大化544年 1245年 大化545年 1246年 大化546年 1247年 大化547年 1248年 大化548年 1249年 大化549年 1250年 大化550年 1251年 大化551年 1252年 大化552年 1253年 大化553年 1254年 大化554年 1255年 大化555年 1256年 大化556年 1257年 大化557年 1258年 大化558年 1259年 大化559年 1260年 大化560年 1261年 大化561年 1262年 大化562年 1263年 大化563年 1264年 大化564年 1265年 大化565年 1266年 大化566年 1267年 大化567年 1268年 大化568年 1269年 大化569年 1270年 大化570年 1271年 大化571年 1272年 大化572年 1273年 大化573年 1274年 大化574年 1275年 大化575年 1276年 大化576年 1277年 大化577年 1278年 大化578年 1279年 大化579年 1280年 大化580年 1281年 大化581年 1282年 大化582年 1283年 大化583年 1284年 大化584年 1285年 大化585年 1286年 大化586年 1287年 大化587年 1288年 大化588年 1289年 大化589年 1290年 大化590年 1291年 大化591年 1292年 大化592年 1293年 大化593年 1294年 大化594年 1295年 大化595年 1296年 大化596年 1297年 大化597年 1298年 大化598年 1299年 大化599年 1300年 大化600年 1301年 大化601年 1302年 大化602年 1303年 大化603年 1304年 大化604年 1305年 大化605年 1306年 大化606年 1307年 大化607年 1308年 大化608年 1309年 大化609年 1310年 大化610年 1311年 大化611年 1312年 大化612年 1313年 大化613年 1314年 大化614年 1315年 大化615年 1316年 大化616年 1317年 大化617年 1318年 大化618年 1319年 大化619年 1320年 大化620年 1321年 大化621年 1322年 大化622年 1323年 大化623年 1324年 大化624年 1325年 大化625年 1326年 大化626年 1327年 大化627年 1328年 大化628年 1329年 大化629年 1330年 大化630年 1331年 大化631年 1332年 大化632年 1333年 大化633年 1334年 大化634年 1335年 大化635年 1336年 大化636年 1337年 大化637年 1338年 大化638年 1339年 大化639年 1340年 大化640年 1341年 大化641年 1342年 大化642年 1343年 大化643年 1344年 大化644年 1345年 大化645年 1346年 大化646年 1347年 大化647年 1348年 大化648年 1349年 大化649年 1350年 大化650年 1351年 大化651年 1352年 大化652年 1353年 大化653年 1354年 大化654年 1355年 大化655年 1356年 大化656年 1357年 大化657年 1358年 大化658年 1359年 大化659年 1360年 大化660年 1361年 大化661年 1362年 大化662年 1363年 大化663年 1364年 大化664年 1365年 大化665年 1366年 大化666年 1367年 大化667年 1368年 大化668年 1369年 大化669年 1370年 大化670年 1371年 大化671年 1372年 大化672年 1373年 大化673年 1374年 大化674年 1375年 大化675年 1376年 大化676年 1377年 大化677年 1378年 大化678年 1379年 大化679年 1380年 大化680年 1381年 大化681年 1382年 大化682年 1383年 大化683年 1384年 大化684年 1385年 大化685年 1386年 大化686年 1387年 大化687年 1388年 大化688年 1389年 大化689年 1390年 大化690年 1391年 大化691年 1392年 大化692年 1393年 大化693年 1394年 大化694年 1395年 大化695年 1396年 大化696年 1397年 大化697年 1398年 大化698年 1399年 大化699年 1400年 大化700年 1401年 大化701年 1402年 大化702年 1403年 大化703年 1404年 大化704年 1405年 大化705年 1406年 大化706年 1407年 大化707年 1408年 大化708年 1409年 大化709年 1410年 大化710年 1411年 大化711年 1412年 大化712年 1413年 大化713年 1414年 大化714年 1415年 大化715年 1416年 大化716年 1417年 大化717年 1418年 大化718年 1419年 大化719年 1420年 大化720年 1421年 大化721年 1422年 大化722年 1423年 大化723年 1424年 大化724年 1425年 大化725年 1426年 大化726年 1427年 大化727年 1428年 大化728年 1429年 大化729年 1430年 大化730年 1431年 大化731年 1432年 大化732年 1433年 大化733年 1434年 大化734年 1435年 大化735年 1436年 大化736年 1437年 大化737年 1438年 大化738年 1439年 大化739年 1440年 大化740年 1441年 大化741年 1442年 大化742年 1443年 大化743年 1444年 大化744年 1445年 大化745年 1446年 大化746年 1447年 大化747年 1448年 大化748年 1449年 大化749年 1450年 大化750年 1451年 大化751年 1452年 大化752年 1453年 大化753年 1454年 大化754年 1455年 大化755年 1456年 大化756年 1457年 大化757年 1458年 大化758年 1459年 大化759年 1460年 大化760年 1461年 大化761年 1462年 大化762年 1463年 大化763年 1464年 大化764年 1465年 大化765年 1466年 大化766年 1467年 大化767年 1468年 大化768年 1469年 大化769年 1470年 大化770年 1471年 大化771年 1472年 大化772年 1473年 大化773年 1474年 大化774年 1475年 大化775年 1476年 大化776年 1477年 大化777年 1478年 大化778年 1479年 大化779年 1480年 大化780年 1481年 大化781年 1482年 大化782年 1483年 大化783年 1484年 大化784年 1485年 大化785年 1486年 大化786年 1487年 大化787年 1488年 大化788年 1489年 大化789年 1490年 大化790年 1491年 大化791年 1492年 大化792年 1493年 大化793年 1494年 大化794年 1495年 大化795年 1496年 大化796年 1497年 大化797年 1498年 大化798年 1499年 大化799年 1500年 大化800年 1501年 大化801年 1502年 大化802年 1503年 大化803年 1504年 大化804年 1505年 大化805年 1506年 大化806年 1507年 大化807年 1508年 大化808年 1509年 大化809年 1510年 大化810年 1511年 大化811年 1512年 大化812年 1513年 大化813年 1514年 大化814年 1515年 大化815年 1516年 大化816年 1517年 大化817年 1518年 大化818年 1519年 大化819年 1520年 大化820年 1521年 大化821年 1522年 大化822年 1523年 大化823年 1524年 大化824年 1525年 大化825年 1526年 大化826年 1527年 大化827年 1528年 大化828年 1529年 大化829年 1530年 大化830年 1531年 大化831年 1532年 大化832年 1533年 大化833年 1534年 大化834年 1535年 大化835年 1536年 大化836年 1537年 大化837年 1538年 大化838年 1539年 大化839年 1540年																

■新旧対照表

新(第4章-2)

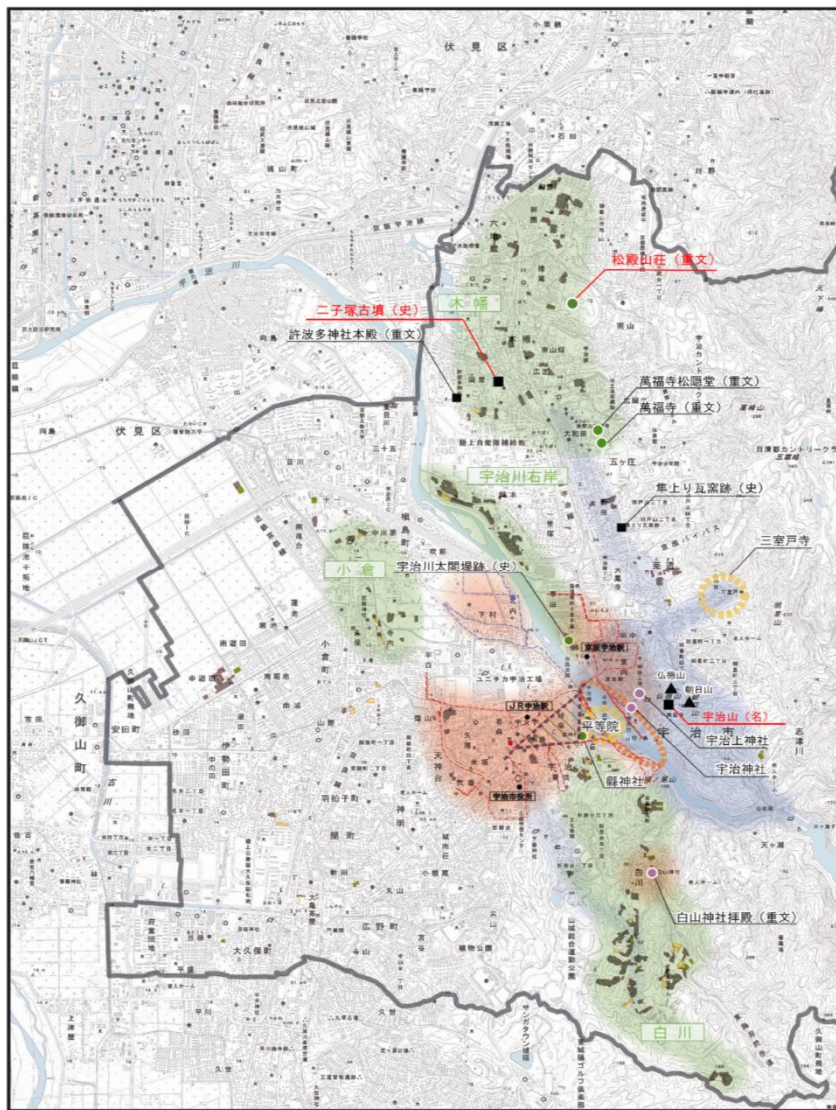


図4-1 宇治市の維持向上すべき歴史的風致の分布状況

旧(第4章-2)

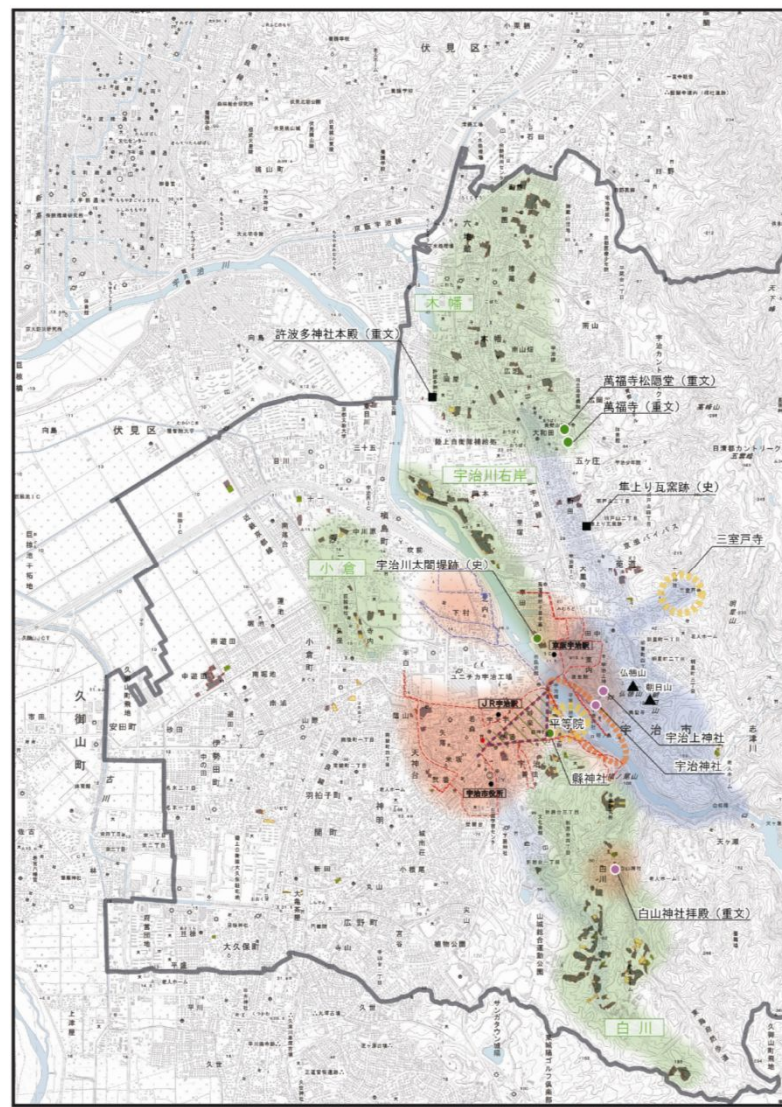
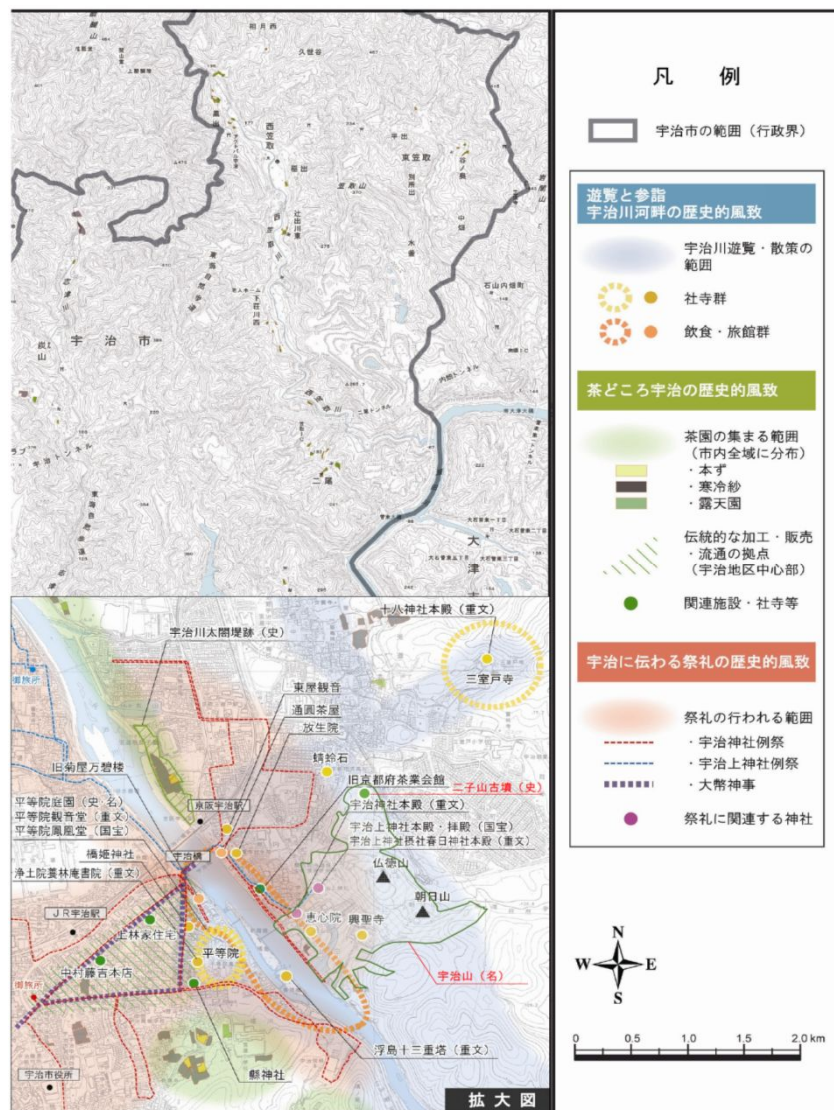


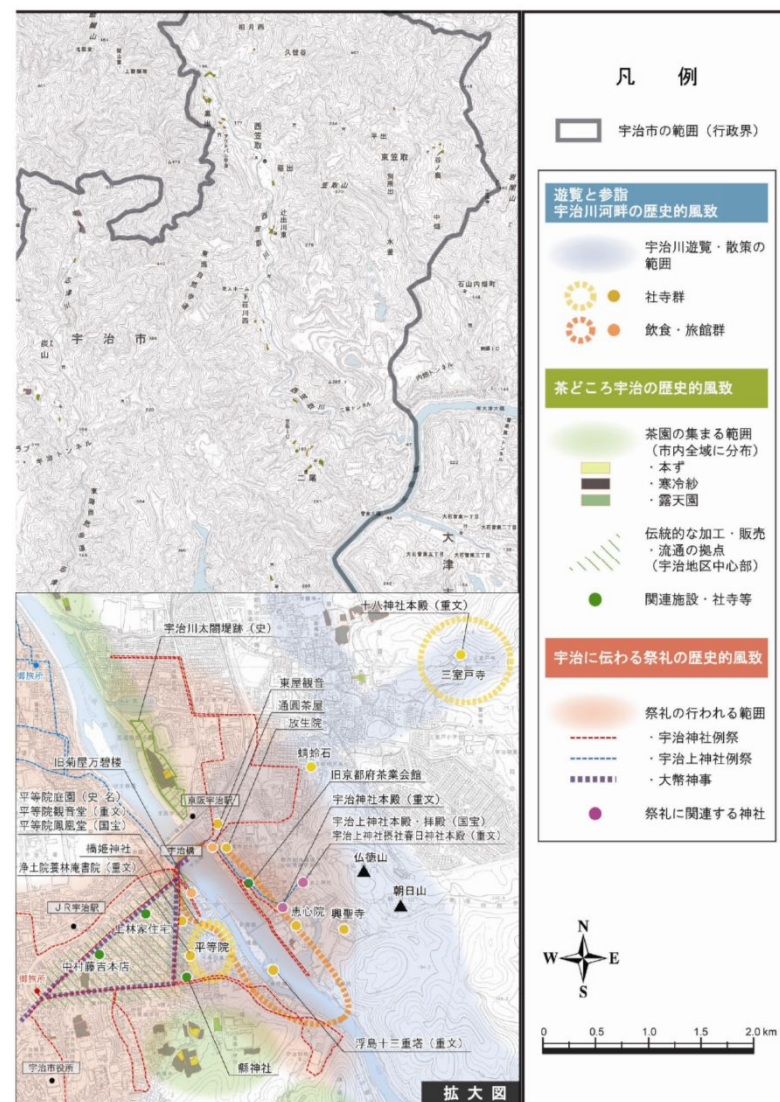
図4-1 宇治市の維持向上すべき歴史的風致の分布状況

■新旧对照表

新 (第4章-3)



旧(第4章-3)



■新旧対照表

新(第4章-6)

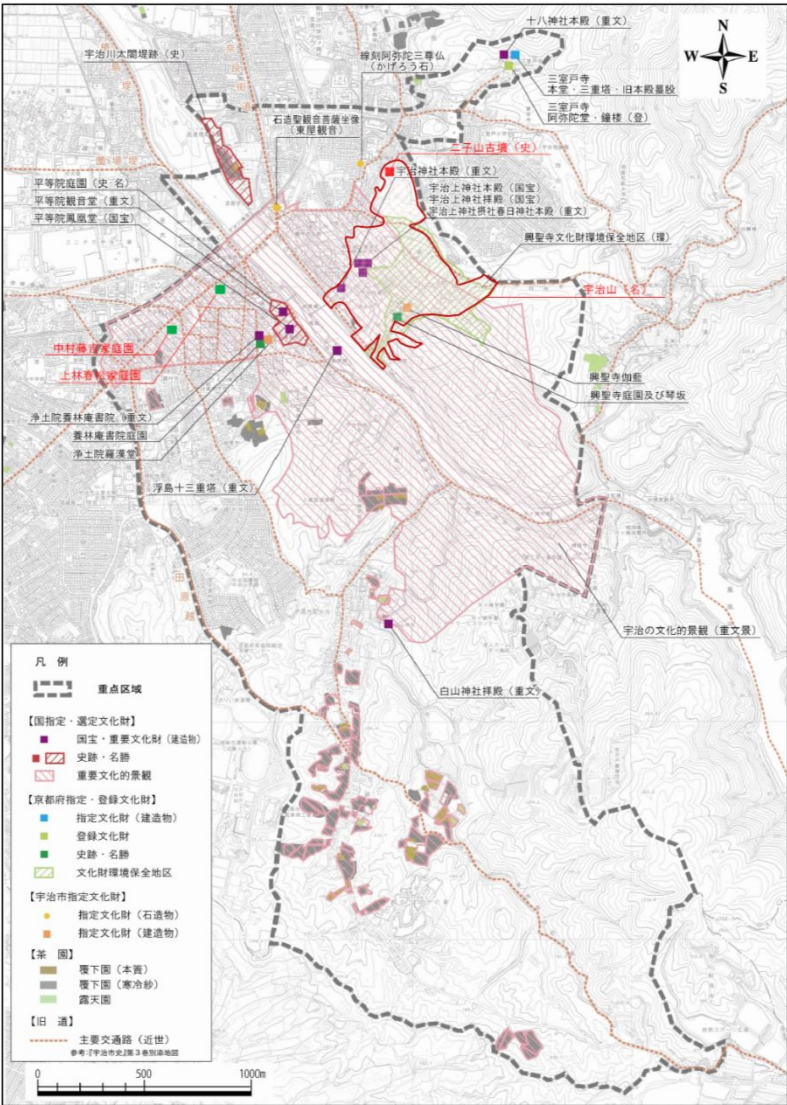


図4-3 宇治・白川歴史的風致重点区域における文化財と茶園等の分布状況

旧(第4章-6)

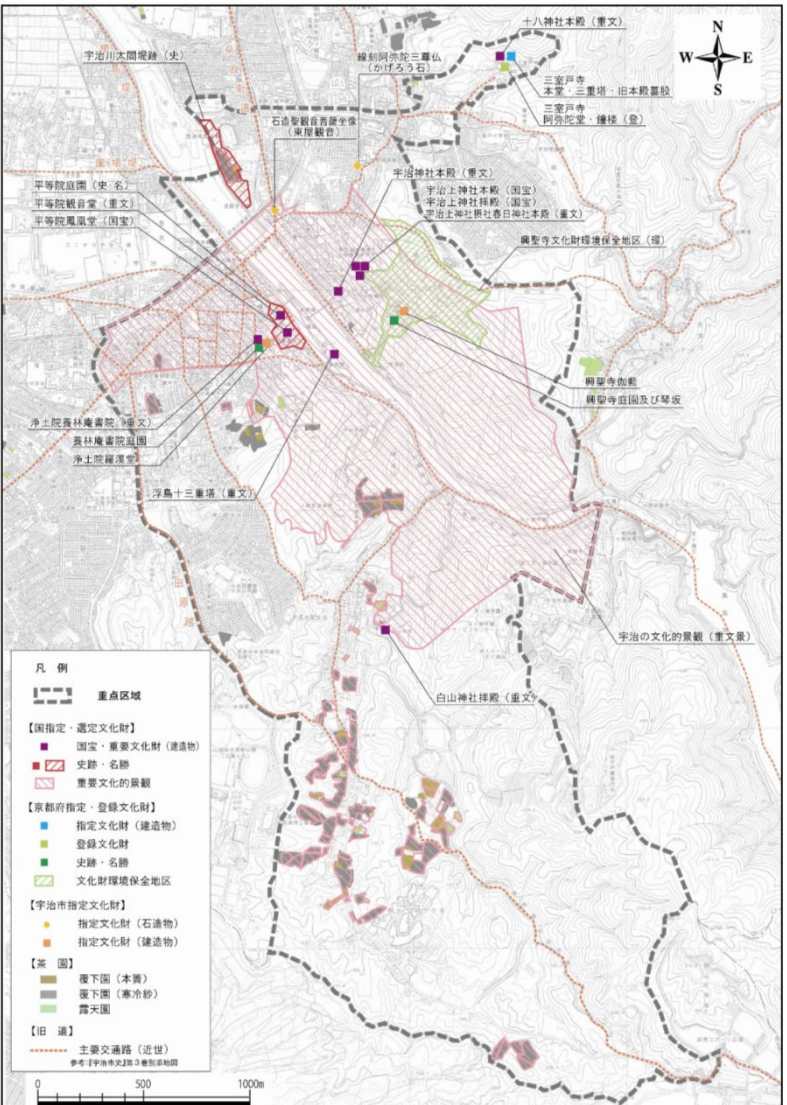


図4-3 宇治・白川歴史的風致重点区域における文化財と茶園等の分布状況

■新旧対照表

新(第5章-5)	旧(第5章-5)
定地と隣接する区域には、史跡整備と一体となった交流ゾーンを整備することで、宇治の歴史文化の情報発信や来訪者の利便性を満たす機能を補完し、(仮称) お茶と宇治のまち歴史公園としての公開を目指している。 今後史跡の復元整備に関しては、文化庁・京都府教育委員会の指導のもと、「宇治川太閤堤跡保存整備検討委員会」に諮りながら進めるものとする。 ＜重点区域における事業＞ ●史跡整備事業（平成 25 年度～平成 32 年度） （３）重要文化的景観 宇治地区では、重要文化的景観の選定時に定めた保存計画に従い、具体的な整備計画が必要であるため、現在宇治橋通りを中心に整備計画の策定に着手している。 重要文化的景観の重要構成要素である宇治橋通りは、府道無電柱化事業によって、無電柱化と修景舗装が行われており、宇治橋通りの文化的景観としての価値を尊重した整備が図られている。 また重要構成要素の家屋の修理・修景は、国の補助金の充当を可能とする市の分担金条例を活用した、文化的景観保存活用事業を進めるものとする。 ＜重点区域における事業＞ ●文化的景観整備計画策定調査（～平成 33 年度） ●重要文化的景観保存事業（平成 24 年度～） ●無電柱化事業（～平成 32 年度）	定地と隣接する区域には、史跡整備と一体となった交流ゾーンを整備することで、宇治の歴史文化の情報発信や来訪者の利便性を満たす機能を補完し、(仮称) 宇治川太閤堤跡公園としての公開を目指している。 今後史跡の復元整備に関しては、文化庁・京都府教育委員会の指導のもと、「宇治川太閤堤跡保存整備検討委員会」に諮りながら進めるものとする。 ＜重点区域における事業＞ ●史跡整備事業（平成 25 年度～平成 32 年度） （３）重要文化的景観 宇治地区では、重要文化的景観の選定時に定めた保存計画に従い、具体的な整備計画が必要であるため、現在宇治橋通りを中心に整備計画の策定に着手している。 重要文化的景観の重要構成要素である宇治橋通りは、府道無電柱化事業によって、無電柱化と修景舗装が行われており、宇治橋通りの文化的景観としての価値を尊重した整備が図られている。 また重要構成要素の家屋の修理・修景は、国の補助金の充当を可能とする市の分担金条例を活用した、文化的景観保存活用事業を進めるものとする。 ＜重点区域における事業＞ ●文化的景観整備計画策定調査（～平成 33 年度） ●重要文化的景観保存事業（平成 24 年度～） ●無電柱化事業（～平成 32 年度）

■新旧対照表

新(第5章-6)

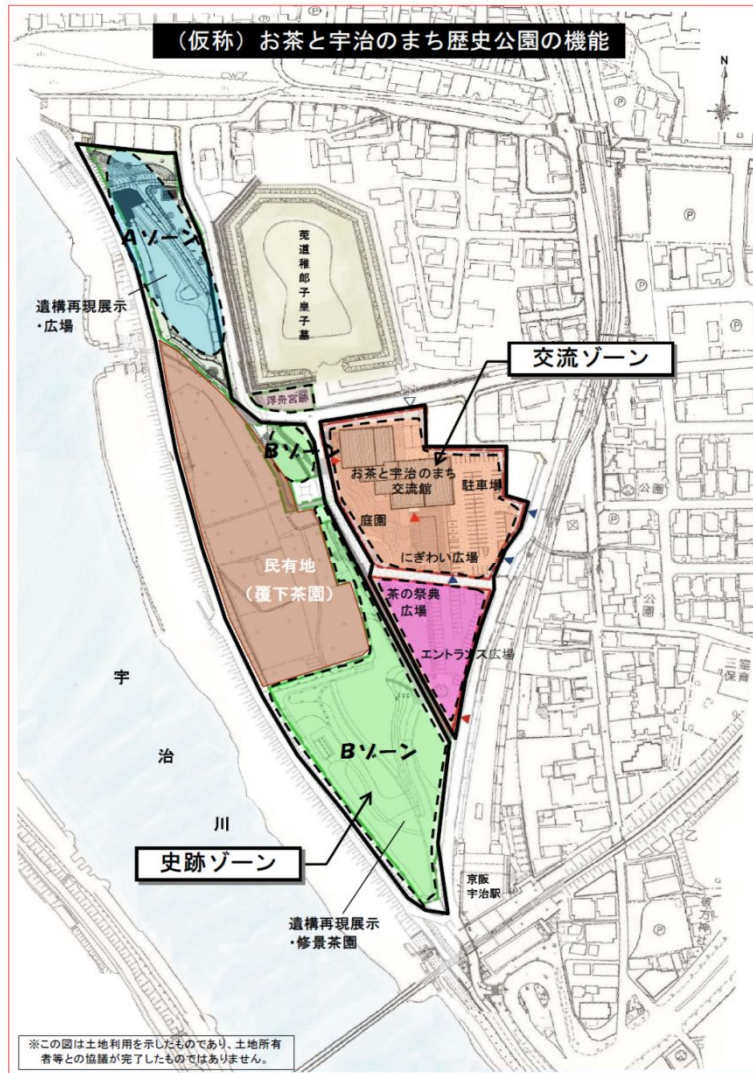


図5-1 (仮称) お茶と宇治のまち歴史公園の整備計画における機能配置図

旧(第5章-6)

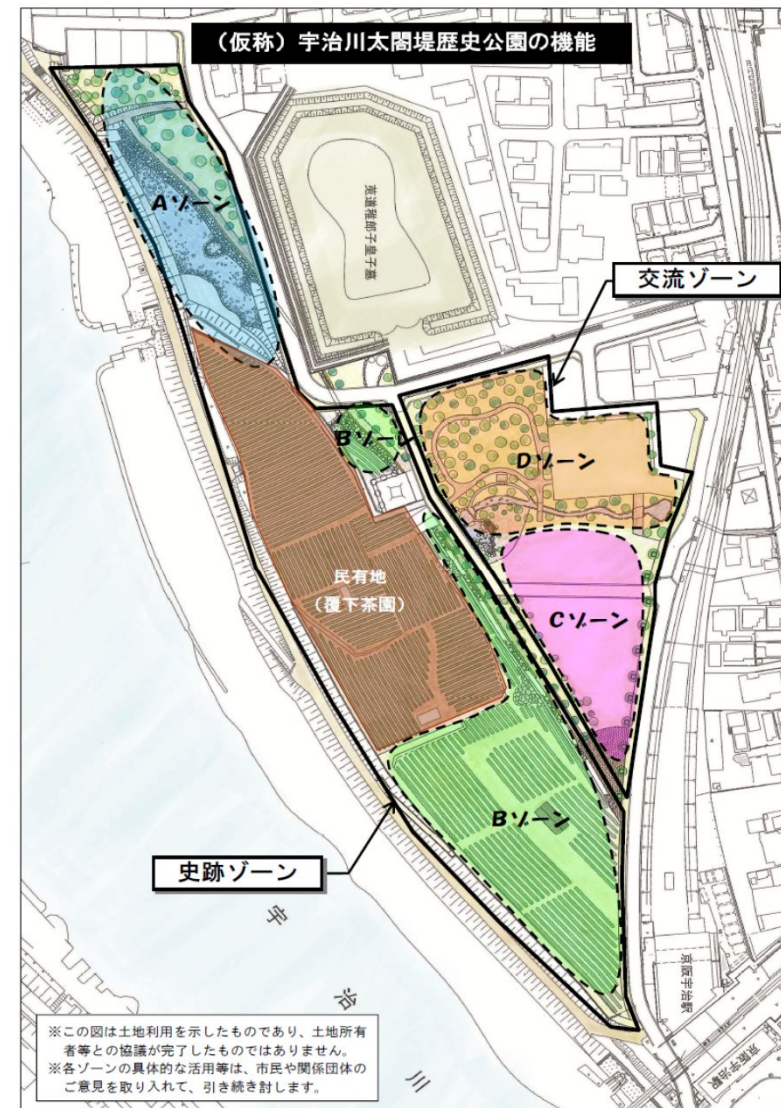


図5-1 (仮称) 宇治川太閤堤歴史公園の整備計画における機能配置図

■新旧対照表

新(第5章-7)	旧(第5章-7)
【史跡ゾーン】 国(文化庁)から史跡に指定されたエリアで、文化財としての保存に配慮しながら、様々な時代の太閤堤が体感できるような整備をする。 <u>Aゾーン：秀吉の時代の壮大な遺跡を体感</u> ・太閤秀吉が築堤した壮大な土木遺構を再現 ・川を模した水辺空間を整備 <u>Bゾーン：茶樹に親しめる茶園を演出</u> ・太閤堤が造られ、時間の経過とともに砂地ができ、茶園として利用される時代を再現 ・茶摘体験など、茶樹は活用(使用)することを検討 ・誰でも間近で見ることができる茶園 ※高級茶栽培(茶葉を営む)ではありません。	【史跡ゾーン】 国(文化庁)から史跡に指定されたエリアで、文化財としての保存に配慮しながら、様々な時代の太閤堤が体感できるような整備をする。 <u>Aゾーン：秀吉の時代の壮大な遺跡を体感</u> ・太閤秀吉が築堤した壮大な土木遺構を再現 ・川を模した水辺空間を整備 <u>Bゾーン：茶樹に親しめる茶園を演出</u> ・太閤堤が造られ、時間の経過とともに砂地ができ、茶園として利用される時代を再現 ・茶摘体験など、茶樹は活用(使用)することを検討 ・誰でも間近で見ることができる茶園 ※高級茶栽培(茶葉を営む)ではありません。
【交流ゾーン】 史跡ゾーンを補完し、かつ宇治のまちに賑わいを創出するような整備をする。 <u>お茶と宇治のまち交流館・庭園・にぎわい広場</u> ○宇治の歴史・文化を知り、体験できる施設 ●宇治茶体験エリア ・茶栽培の始まりから「天下一」と称えられるようになる宇治茶の歴史や文化 ・生茶葉が製茶されるまでの体験や試飲 ●宇治の歴史エリア ・古代から現代までの歴史の変遷 ・現在に受け継ぐ重層する歴史の跡 ●太閤堤エリア ・宇治のまちに大きな影響を与えたかつての巨椋池や宇治川の移り変わり ・近世初頭の大規模河川事業である太閤堤の土木技術 ・史跡宇治川太閤堤跡の発掘の経緯 ○憩い・くつろぐことのできる施設 ・飲食のできるスペース ・のんびり休憩できるスペース ・宇治の名物などを販売できるスペース ○観光情報を知ることができる施設 ・様々な観光情報冊子を配置 など <u>茶の祭典広場・エントランス広場</u> ○賑わいあふれ、フレキシブルに利用できる広場 ・お茶と宇治のまち交流館へと誘うアプローチ空間 ・野点を行うなどのイベント等ができるスペース ・臨時駐車場への転用可能な構造 ○菟道稚郎皇子御墓の森と調和を図り、高木による樹林地や中低木の群落、草地による修景 ・弁当を広げることができ、またイベントなどを開催できる森(広場)	【交流ゾーン】 史跡ゾーンを補完し、かつ宇治のまちに賑わいを創出するような整備をする。 <u>Cゾーン：新たな発見とくつろぎの提供</u> ○宇治の歴史・文化を知り、体験できる施設 ●宇治茶体験エリア ・茶栽培の始まりから「天下一」と称えられるようになる宇治茶の歴史や文化 ・生茶葉が製茶されるまでの体験や試飲 ●宇治の歴史エリア ・古代から現代までの歴史の変遷 ・現在に受け継ぐ重層する歴史の跡 ●太閤堤エリア ・宇治のまちに大きな影響を与えたかつての巨椋池や宇治川の移り変わり ・近世初頭の大規模河川事業である太閤堤の土木技術 ・史跡宇治川太閤堤跡の発掘の経緯 ○憩い・くつろぐことのできる施設 ・飲食のできるスペース ・のんびり休憩できるスペース ・宇治の名物などを販売できるスペース ○観光情報を知ることができる施設 ・様々な観光情報冊子を配置 など <u>Dゾーン：癒しと親水の空間を創造</u> ○かつて宇治川に流れ込んでいた小川を想定した整備 ・子供が安全に水と親しむことができる小川 ・かつてこの地にあった庭園をイメージさせる池のある庭園 ○菟道稚郎子墓の森と調和を図り、高木による樹林地や中低木の群落、草地による修景 ・弁当を広げることができ、またイベントなどを開催できる森(広場)

■新旧対照表

新(第5章-8)

3. 文化財の保存・活用を行う施設に関する方針及び計画

3-1 市域全体に関する方針

本市には市内遺跡から出土した考古資料の収納施設として4箇所の仮設収蔵庫と、収蔵・展示施設として宇治市歴史資料館を設置している。宇治市歴史資料館は、主に指定文化財の保管と展示を行っており、文化財の保存活用の中核的役割を果たす施設として今後も現状の役割を維持しつつ、文化財に関する生涯学習活動等の機会拡充や展示企画の強化、内容の充実に努める。

なお埋蔵文化財の適切な収蔵と公開活用機能に関しては、整備事業を予定している（仮称）お茶と宇治のまち歴史公園において、この機能も果たせる施設の検討を行うこととしている。

また市内各所の指定文化財等には既に標柱・説明板等を設置しているが、今後も文化財の理解や周知、見学誘導の観点から、説明板や小規模な休憩施設（ベンチ等）の設置・更新を、景観に配慮しながら順次進めていく。



小学生の体験学習活動（宇治市歴史資料館）



市内に設置された文化財説明板

3-2 重点区域に関する具体的な計画

重点区域内の資料館等の展示施設に、「宇治市歴史資料館」と「宇治市源氏物語ミュージアム」がある。歴史資料館は、考古資料の収蔵やこれらを活用した企画展示を行っているが、本市の歴史全般に関する常設展示は行っていない。源氏物語ミュージアムは、施設の性格上歴史に関わる展示は僅かである。このため現在計画している（仮称）お茶と宇治のまち歴史公園の交流ゾーンにおいて、宇治の歴史・文化の情報発信機能を持つ施設の整備を行う。

指定文化財等については説明板等を設置しているが、重要文化的景観の選定地と個々の構成要素を示す説明板は未設置のため、周遊マップ等と連携して説明板を設置する。また現在様々な団体・部局が設置した説明板等は、統一性がなく乱立している個所も見受けられる。今後は文化的景観の価値を損なわないよう整備指針を定め、景観に十分配慮した色彩や大きさ、デザインを検討し、理解しやすい説明板や解説等の整備充実を図る。

<重点区域における事業>

- 情報発信・観光交流施設整備事業（平成27年度～平成32年度）
- 観光振興計画策定事業（平成24年度）

旧(第5章-8)

3. 文化財の保存・活用を行う施設に関する方針及び計画

3-1 市域全体に関する方針

本市には市内遺跡から出土した考古資料の収納施設として4箇所の仮設収蔵庫と、収蔵・展示施設として宇治市歴史資料館を設置している。宇治市歴史資料館は、主に指定文化財の保管と展示を行っており、文化財の保存活用の中核的役割を果たす施設として今後も現状の役割を維持しつつ、文化財に関する生涯学習活動等の機会拡充や展示企画の強化、内容の充実に努める。

なお埋蔵文化財の適切な収蔵と公開活用機能に関しては、整備事業を予定している（仮称）宇治川太閤堤跡歴史公園において、この機能も果たせる施設の検討を行うこととしている。

また市内各所の指定文化財等には既に標柱・説明板等を設置しているが、今後も文化財の理解や周知、見学誘導の観点から、説明板や小規模な休憩施設（ベンチ等）の設置・更新を、景観に配慮しながら順次進めていく。



小学生の体験学習活動（宇治市歴史資料館）



市内に設置された文化財説明板

3-2 重点区域に関する具体的な計画

重点区域内の資料館等の展示施設に、「宇治市歴史資料館」と「宇治市源氏物語ミュージアム」がある。歴史資料館は、考古資料の収蔵やこれらを活用した企画展示を行っているが、本市の歴史全般に関する常設展示は行っていない。源氏物語ミュージアムは、施設の性格上歴史に関わる展示は僅かである。このため現在計画している（仮称）宇治川太閤堤跡歴史公園のC・Dゾーンにおいて、宇治の歴史・文化の情報発信機能を持つ施設の整備を行う。

指定文化財等については説明板等を設置しているが、重要文化的景観の選定地と個々の構成要素を示す説明板は未設置のため、周遊マップ等と連携して説明板を設置する。また現在様々な団体・部局が設置した説明板等は、統一性がなく乱立している個所も見受けられる。今後は文化的景観の価値を損なわないよう整備指針を定め、景観に十分配慮した色彩や大きさ、デザインを検討し、理解しやすい説明板や解説等の整備充実を図る。

<重点区域における事業>

- 情報発信・観光交流施設整備事業（平成27年度～平成32年度）
- 観光振興計画策定事業（平成24年度）

■新旧対照表

新(第5章-11)

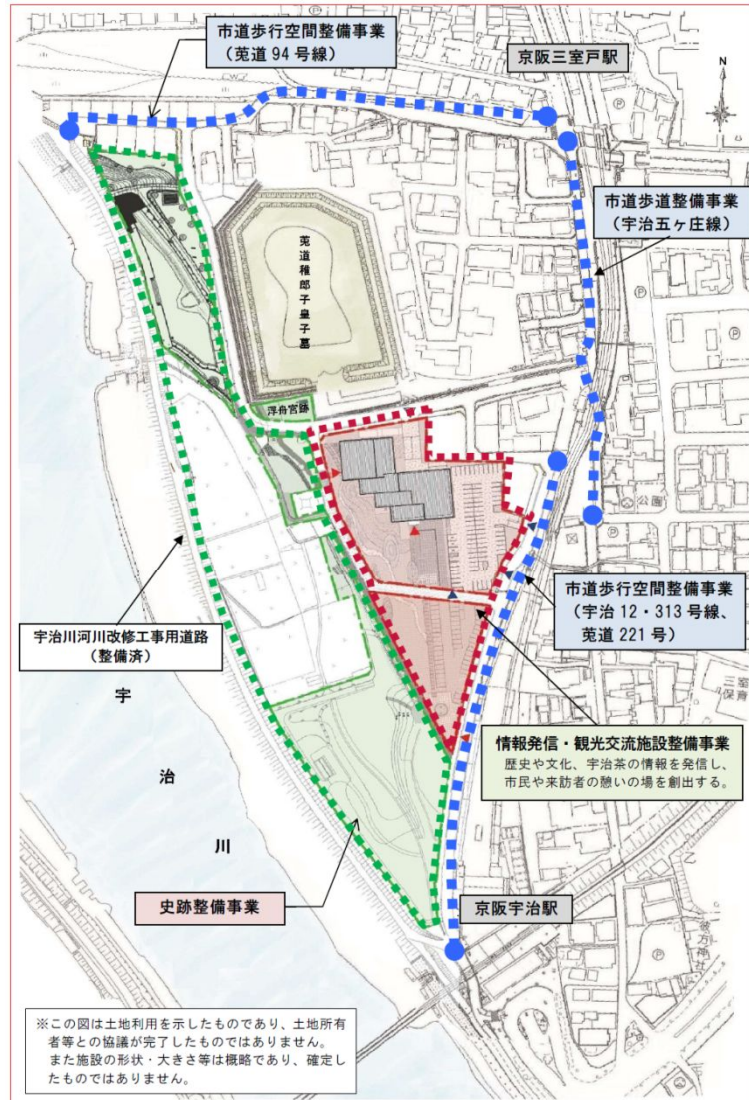


図5-2 (仮称)お茶と宇治のまち歴史公園の整備イメージ及び周辺道路の整備事業の実施位置

旧(第5章-11)

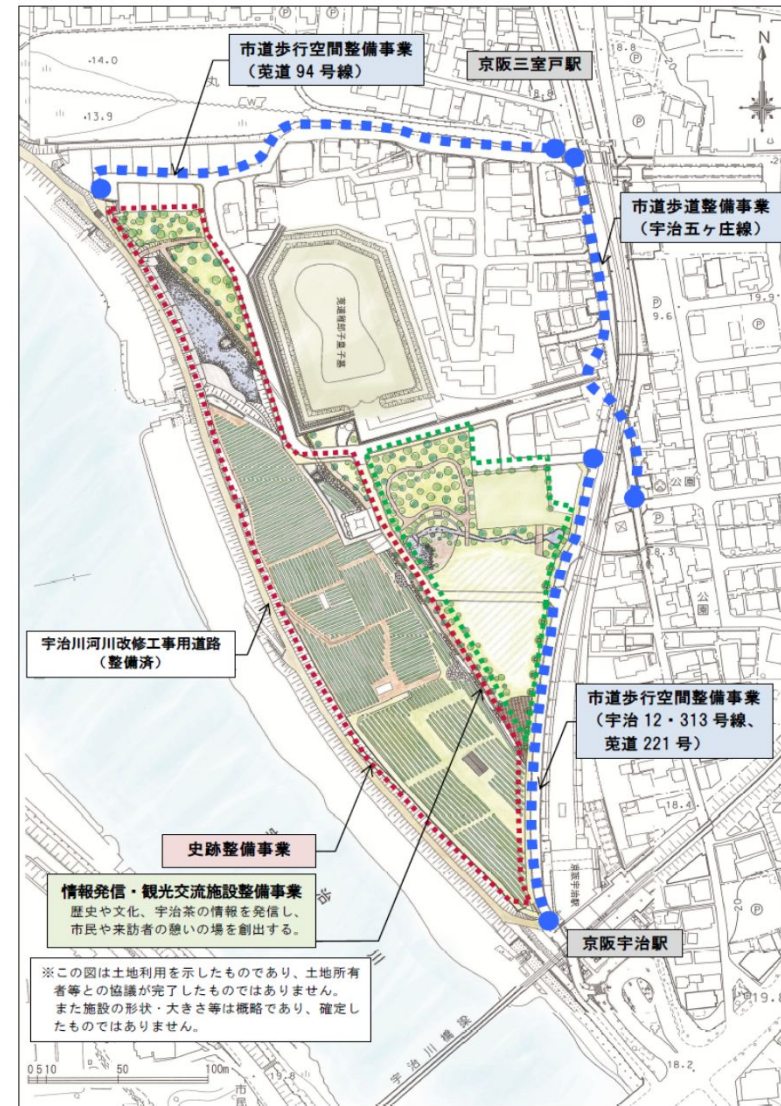
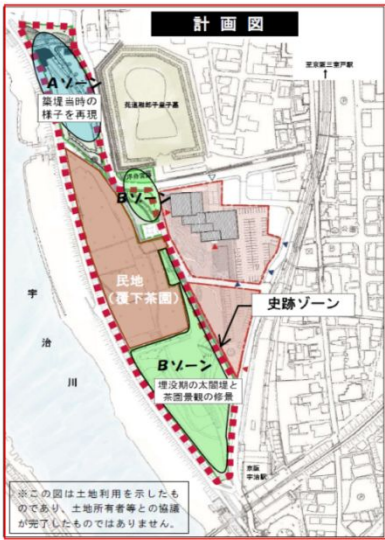


図5-2 (仮称)宇治川太閤堤歴史公園の整備イメージ及び周辺道路の整備事業の実施位置

■新旧対照表

新(第5章-14)	旧(第5章-14)
6. 文化財の保存及び活用の普及・啓発に関する方針及び計画 6-1 市域全体に関する方針 本市の文化財の価値を後世に伝えるため、文化財を活用しながら、内外に広く普及・啓発するための機会の提供に努める。 文化財に親しんでもらうことを目的とした市指定史跡庵寺山古墳の公開（春・秋の年2回）や小中学生を対象にした文化財見学会、発掘調査報告会、文化的景観フォーラム等を行っており、これらの活動や行事を通じて文化財保護の普及啓発に努める。 このほか、平成24年度から市内全小中学校で実施される小中一貫教育において、「総合的な学習の時間」を「宇治で学ぶ、宇治を学ぶ、宇治のために学ぶ」という考え方に基づく「宇治学」として再構成し、児童・生徒が宇治の歴史・文化遺産や伝統的な産業など体験的に学習できるようにする。 文化財の情報発信については、埋蔵文化財の発掘現場の公開や小学校における出前授業、生涯学習活動推進の一環として公民館での講座・講演会を開催するなど、市民が文化財に触れる機会を設け、文化財をより身近に感じてもらえるよう、普及・啓発活動を行うものとする。加えて、本市のホームページの充実を図り、関心を持つ市外の人も最新の調査成果等が入手できるよう、情報提供を積極的に行うようにする。 なおこれまで国に登録されている文化財が無いことから、市民に対して文化財登録制度そのものの周知を行い、例えば民間所有の民家や店舗、茶業に関する道具類など、宇治の歴史文化を物語る多様な事例を対象に、文化財保護を幅広く進める。 庵寺山古墳の公開と体験学習（古代人になろう） 発掘調査成果の市民説明会 6-2 重点区域に関する具体的な計画 重点区域における文化財の知名度は、世界遺産の平等院が圧倒的に高く、宇治上神社がこれに次ぐ。そのほかにも多数の文化財、重要文化的景観の重要構成要素（建物や施設等）の周知を図るため、文化財を見学・回遊できるルート設定を行い、パンフレット等の作成・配布や、未指定文化財等の案内板や説明板等の設置を進める。今後は（仮称）お茶と宇治のまち歴史公園を核としたまちなか観光促進が求められており、周遊散策の促進とともに	6. 文化財の保存及び活用の普及・啓発に関する方針及び計画 6-1 市域全体に関する方針 本市の文化財の価値を後世に伝えるため、文化財を活用しながら、内外に広く普及・啓発するための機会の提供に努める。 文化財に親しんでもらうことを目的とした市指定史跡庵寺山古墳の公開（春・秋の年2回）や小中学生を対象にした文化財見学会、発掘調査報告会、文化的景観フォーラム等を行っており、これらの活動や行事を通じて文化財保護の普及啓発に努める。 このほか、平成24年度から市内全小中学校で実施される小中一貫教育において、「総合的な学習の時間」を「宇治で学ぶ、宇治を学ぶ、宇治のために学ぶ」という考え方に基づく「宇治学」として再構成し、児童・生徒が宇治の歴史・文化遺産や伝統的な産業など体験的に学習できるようにする。 文化財の情報発信については、埋蔵文化財の発掘現場の公開や小学校における出前授業、生涯学習活動推進の一環として公民館での講座・講演会を開催するなど、市民が文化財に触れる機会を設け、文化財をより身近に感じてもらえるよう、普及・啓発活動を行うものとする。加えて、本市のホームページの充実を図り、関心を持つ市外の人も最新の調査成果等が入手できるよう、情報提供を積極的に行うようにする。 なおこれまで国に登録されている文化財が無いことから、市民に対して文化財登録制度そのものの周知を行い、例えば民間所有の民家や店舗、茶業に関する道具類など、宇治の歴史文化を物語る多様な事例を対象に、文化財保護を幅広く進める。 庵寺山古墳の公開と体験学習（古代人になろう） 発掘調査成果の市民説明会 6-2 重点区域に関する具体的な計画 重点区域における文化財の知名度は、世界遺産の平等院が圧倒的に高く、宇治上神社がこれに次ぐ。そのほかにも多数の文化財、重要文化的景観の重要構成要素（建物や施設等）の周知を図るため、文化財を見学・回遊できるルート設定を行い、パンフレット等の作成・配布や、未指定文化財等の案内板や説明板等の設置を進める。また今後は（仮称）宇治川太閤堤歴史公園を核としたまちなか観光促進が求められており、周遊散策の促進とともに

■新旧対照表

新(第6章-6)			旧(第6章-6)		
事業名	2. 史跡整備事業		事業名	2. 史跡整備事業	
整備主体	宇治市	事業位置	整備主体	宇治市	事業位置
事業期間	平成 25 年度 ～ 平成 32 年度		事業期間	平成 25 年度 ～ 平成 31 年度	
支援事業名	歴史活き活き！史跡等総合活用整備事業		支援事業名	歴史活き活き！史跡等総合活用整備事業	
事業概要	史跡宇治川太閤堤跡を活用した公園を整備する。 築堤当時と埋没期の太閤堤を再現し、太閤堤の果たした機能と歴史の重層性を表現する。 築堤時の様子を再現するゾーンは水辺空間、埋没期の様子を再現するゾーンは修景茶園を整備する。  ※この図は土地利用を示したものであり、土地所有者等との協議が完了したものではありません。		事業概要	史跡宇治川太閤堤跡を活用した公園を整備する。 築堤当時と埋没期の太閤堤を再現し、太閤堤の果たした機能と歴史の重層性を表現する。 築堤時の様子を再現するゾーンは水辺空間、埋没期の様子を再現するゾーンは修景茶園を整備する。  ※この図は土地利用を示したものであり、土地所有者等との協議が完了したものです。	
歴史的風致の維持向上に寄与する理由	宇治川は本市の歴史的風致の骨格を成しており、太閤堤の築堤は宇治を水陸要衝の地から茶業の町へと特化させる契機となり、この遺跡は平成 21 年に史跡指定された。 壮大な築堤状況が体感できる空間整備と茶園景観の修景とを一体的に行い、多くの市民や来訪者に本市の歴史・文化の総合的理解を促すことになるため、歴史的風致の維持向上に寄与する。		歴史的風致の維持向上に寄与する理由	宇治川は本市の歴史的風致の骨格を成しており、太閤堤の築堤は宇治を水陸要衝の地から茶業の町へと特化させる契機となり、この遺跡は平成 21 年に史跡指定された。 壮大な築堤状況が体感できる空間整備と茶園景観の修景とを一体的に行い、多くの市民や来訪者に本市の歴史・文化の総合的理解を促すことになるため、歴史的風致の維持向上に寄与する。	

■新旧対照表

新(第6章-7)

事業名	3. 情報発信・観光交流施設整備事業	
整備主体	宇治市	
事業期間	平成 27 年度 ～ 平成 32 年度	
支援事業名	社会資本整備総合交付金 (都市再生整備計画事業)	
事業概要	史跡宇治川太閤堤跡の隣接地に、歴史や文化、宇治茶の情報を発信する施設を整備するとともに、市民や来訪者の憩いの広場を創出する。  ※この図は土地利用を示したものであり、土地所有権等との協議が完了したものではありません。	
歴史的風致の維持向上に寄与する理由	史跡宇治川太閤堤跡の隣接地において、市民と来訪者が利用できる、宇治の歴史や文化を情報発信する施設の整備を行う。 当該事業により、宇治橋周辺地域の散策ルートの起点となる場所が確保され、来訪者の目的に応じたまちなか散策を円滑に誘導すると同時に、宇治の歴史や文化を総合的かつ分かりやすく伝えることができるため、歴史的風致の維持向上に寄与する。	

旧(第6章-7)

事業名		3. 情報発信・観光交流施設整備事業	
整備主体	宇治市		
事業期間	平成27年度 ～ 平成31年度		
支援事業名	社会資本整備総合交付金 (都市再生整備計画事業)		
事業概要	史跡宇治川太閤堤跡の隣接地に、歴史や文化、宇治茶の情報を発信する施設を整備するとともに、市民や来訪者の憩いの広場を創出する。		
歴史的風致の維持向上に寄与する理由	史跡宇治川太閤堤跡の隣接地において、市民と来訪者が利用できる、宇治の歴史や文化を情報発信する施設の整備を行う。 当該事業により、宇治橋周辺地域の散策ルートの起点となる場所が確保され、来訪者の目的に応じたまちなか散策を円滑に誘導すると同時に、宇治の歴史や文化を総合的かつ分かりやすく伝えることができるため、歴史的風致の維持向上に寄与する。		

■新旧対照表

新(第6章-10)

旧(第6章-10)

新(第6章-10)		旧(第6章-10)	
事業名	6. 歩行空間整備事業		
整備主体	宇治市		
事業期間	平成 24 年度 ～ 平成 32 年度		
支援事業名	平成 27 年度～平成 32 年度： 社会資本整備総合交付金 (都市再生整備計画事業)、 平成 24 年度～平成 28 年度： 市単独事業		
事業概要	歩道の新設あるいは修景舗装による歩行者優先道路の整備を行う。 - 市道菟道 94 号線 - 市道菟道 221 号線 - 市道宇治 313 号線 - 市道宇治 12 号線 - 市道宇治白川線 - 市道宇治 233 号線  		
歴史的風致の維持向上に寄与する理由	史跡公園と宇治川周辺の歴史・文化資源や白川集落を結ぶ道路に歩道空間を整備することで、来訪者が歴史に触れながら安心して散策できるようになり、回遊性の向上につながるため、歴史的風致の維持向上に寄与する。		

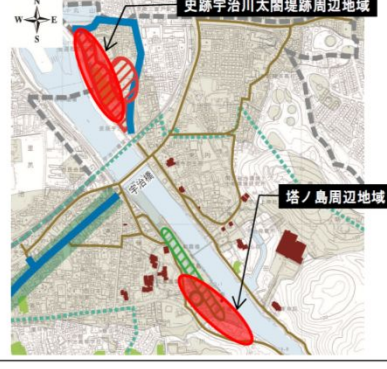
事業名	6. 歩行空間整備事業		
整備主体	宇治市		
事業期間	平成 24 年度 ～ 平成 31 年度		
支援事業名	平成 27 年度～平成 31 年度： 社会資本整備総合交付金 (都市再生整備計画事業)、 平成 24 年度～平成 28 年度： 市単独事業		
事業概要	歩道の新設あるいは修景舗装による歩行者優先道路の整備を行う。 - 市道菟道 94 号線 - 市道菟道 221 号線 - 市道宇治 313 号線 - 市道宇治 12 号線 - 市道宇治白川線 - 市道宇治 233 号線  		
歴史的風致の維持向上に寄与する理由	史跡公園と宇治川周辺の歴史・文化資源や白川集落を結ぶ道路に歩道空間を整備することで、来訪者が歴史に触れながら安心して散策できるようになり、回遊性の向上につながるため、歴史的風致の維持向上に寄与する。		

■新旧対照表

新(第6章-12)

事業名	8. 観光施設周辺浸水対策事業		
整備主体	宇治市	事業位置	
事業期間	平成 27 年度 ～ 平成 32 年度		
支援事業名	市単独事業		
事業概要	史跡周辺地域において、観光施設及び周辺道路の浸水を防止するための調査検討を行い、排水施設の改良工事を行う。 ・ 史跡宇治川太閤堤跡周辺地域 ・ 塔ノ島周辺地域		
歴史的風致の維持向上に寄与する理由	歴史・文化資源や歴史的まちなみの回遊性を確保するとともに、宇治川河畔の参詣や遊覧など歴史的伝統を継承する諸活動が行われている良好な市街地の環境を守ることにより、歴史的風致の維持向上に寄与する。		

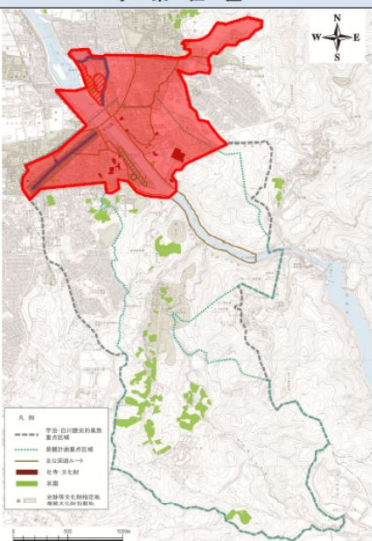
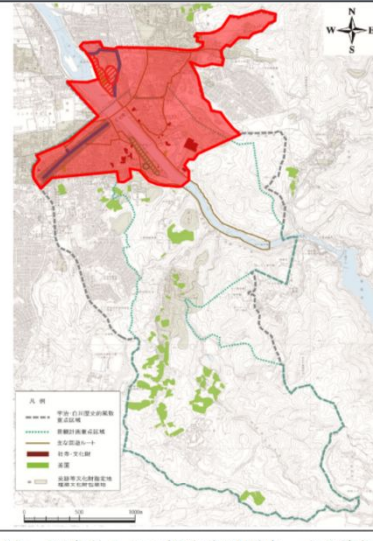
旧(第6章-12)

事業名	8. 観光施設周辺浸水対策事業		
整備主体	宇治市	事業位置	
事業期間	平成 27 年度 ～ 平成 31 年度		
支援事業名	市単独事業		
事業概要	史跡周辺地域において、観光施設及び周辺道路の浸水を防止するための調査検討を行い、排水施設の改良工事を行う。 ・ 史跡宇治川太閤堤跡周辺地域 ・ 塔ノ島周辺地域		
歴史的風致の維持向上に寄与する理由	歴史・文化資源や歴史的まちなみの回遊性を確保するとともに、宇治川河畔の参詣や遊覧など歴史的伝統を継承する諸活動が行われている良好な市街地の環境を守ることにより、歴史的風致の維持向上に寄与する。		

■新旧対照表

新(第6章-13)

旧(第6章-13)

新(第6章-13)			旧(第6章-13)		
事業名	9. 観光サイン等整備事業		事業名	9. 観光サイン等整備事業	
整備主体	宇治市	事業位置 	整備主体	宇治市	事業位置 
事業期間	平成 29 年度 ～ 平成 32 年度		事業期間	平成 29 年度 ～ 平成 31 年度	
支援事業名	社会資本整備総合交付金 (都市再生整備計画事業)		支援事業名	社会資本整備総合交付金 (都市再生整備計画事業)	
事業概要	宇治市観光振興計画に基づき、国内外からの観光客が歴史・文化資源や歴史的まちなみ等を回遊しやすい環境を整備するため、分かりやすい観光サインや観光トイレの再整備を行う。		事業概要	観光サイン等整備計画に基づき、国内外からの観光客が歴史・文化資源や歴史的まちなみ等を回遊しやすい環境を整備するため、分かりやすい観光サインの再整備を行う。	
歴史的風致の維持向上に寄与する理由	歴史・文化資源や歴史的まちなみの回遊性を向上させ、歴史・文化遺産を活かしたまち全体を楽しむ観光振興を図ることは、歴史的風致の維持向上に寄与する。		歴史的風致の維持向上に寄与する理由	歴史・文化資源や歴史的まちなみの回遊性を向上させ、歴史・文化遺産を活かしたまち全体を楽しむ観光振興を図ることは、歴史的風致の維持向上に寄与する。	

■新旧対照表

新(第6章-14)			旧(第6章-14)		
事業名	10. 建物修景助成事業		事業名	10. 建物修景助成事業	
整備主体	所有者	事業位置 	整備主体	所有者	事業位置 
事業期間	平成22年度～		事業期間	平成22年度～	
支援事業名	市単独事業 社会資本整備総合交付金		支援事業名	市単独事業	
事業概要	景観計画重点区域内の景観重要建造物や歴史的風致形成建造物に指定された建物、景観計画重点区域内の景観重要公共施設（道路）の一部沿道において、良好な景観の形成に著しく寄与すると認められる建物に対して修景助成を行う。  施工前 施工後		特に景観に配慮すべき宇治市景観計画重点区域内の景観重要公共施設（道路）の一部沿道において、良好な景観の形成に著しく寄与すると認められる建物について、修景助成を行う。 ・府道宇治淀線の一部 ・府道宇治停車場線の一部 ・府道宇治小倉停車場線の一部 ・府道平等院線 ・府道宇治公園線、市道宇治志津川線の一部 ・市道白川浜山本線  施工前 施工後		
歴史的風致の維持向上に寄与する理由	茶業に関する家屋や伝統的な町家建築、近代期の商業店舗などが混在し、歴史の重層性や伝統的な茶業を感じさせる商店街等の建物に対して修景助成を行うことにより、歴史ある沿道景観の保全と形成を促進し、賑わいと風情あるまちづくりが推進されるため、歴史的風致の維持向上に寄与する。		茶業に関する家屋や伝統的な町家建築、近代期の商業店舗などが混在し、歴史の重層性や伝統的な茶業を感じさせる商店街等の建物に対して修景助成を行うことにより、歴史ある沿道景観の保全と形成を促進し、賑わいと風情あるまちづくりが推進されるため、歴史的風致の維持向上に寄与する。		

新(巻末資料-2)

○国・県・市指定文化財等一覧

*「番号」は、本編の「図1-11 指定文化財等分布図」の番号と対応している。

*考古資料等の文化財の「番号」は「出土先」を示すものであり、文化財の所有者あるいは保管先については異なる場合がある。

1. 国指定・選定文化財等一覧表

区分・種類	名称・数量	年代	所有者	指定年度	番号			
国	建造物	平等院鳳凰堂 4棟	平安(天喜元)	平等院	明治30	35		
		宇治上神社本殿 1棟	平安	宇治上神社	明治35	33		
		宇治上神社拝殿 1棟 附 棧唐戸 4枚 墓股 1個	鎌倉					
	絵画	鳳凰堂中堂壁扉画 14面 附 九品来迎図(屏絵2面)	平安(天喜元) 江戸	平等院	昭和47	35		
	彫刻	木造阿弥陀如来坐像 定朝作 1軀 附 木造阿弥陀種子曼荼羅 1面 木造蓮台 1基	平安	平等院	明治32	35		
		木造天蓋 1具	平安		明治37			
		木造雲中供養菩薩像 52軀	平安					
	工芸品	梵鐘 1口	平安	平等院	大正3	35		
		金銅鳳凰 1対	平安		昭和47			
重要文化財	建造物	平等院観音堂 1棟	鎌倉	平等院	昭和61	35		
		浄土院養林庵書院 1棟	桃山	浄土院	昭和2	37		
		宇治上神社摂社春日神社本殿 1棟	鎌倉	宇治上神社	明治45	33		
		宇治神社本殿 1棟	鎌倉	宇治神社	明治35	31		
		浮島十三重塔 1基	鎌倉(弘安9)	橋寺放生院	昭和28	38		
		白山神社拝殿 1棟 附 棟札 2枚	鎌倉(建治3)	白山神社	明治43	45		
		十八神社本殿 1棟 附 棟札 3枚 旧軒付板 1枚	室町(長享元)	十八神社	大正12	22		
		萬福寺 16棟	江戸	萬福寺	大正2	14		
		萬福寺松隠堂 7棟	江戸		平成元	13		
		許波多神社本殿 1棟 附 厨子 2基 棟札 3枚	室町(永禄5)	許波多神社	明治39	5		
	絵画	松殿山荘 12棟	大正~昭和	松殿山荘	平成29	55		
		本殿屏絵 4面	平安	宇治上神社	昭和52	33		
		紙本着色隠元和尚像 1幅	江戸(寛文11)	萬福寺	明治40	14		
		紙本淡彩 西湖図 4幅	江戸		昭和3			
		西湖図 4幅						
		虎溪三笑図 8幅						
		五百羅漢図 8幅						
		瀑布図 4幅						
		波涛図 1幅						
		紙本淡彩 観音図	江戸		昭和52			

旧(巻末資料-2)

○国・県・市指定文化財等一覧

*「番号」は、本編の「図1-11 指定文化財等分布図」の番号と対応している。

*考古資料等の文化財の「番号」は「出土先」を示すものであり、文化財の所有者あるいは保管先については異なる場合がある。

1. 国指定・選定文化財等一覧表

区分・種類	名称・数量	年代	所有者	指定年度	番号	
国	建造物	平等院鳳凰堂 4棟	平安(天喜元)	平等院	明治30	35
		宇治上神社本殿 1棟	平安	宇治上神社	明治35	33
		宇治上神社拝殿 1棟 附 棧唐戸 4枚 墓股 1個	鎌倉			
	絵画	鳳凰堂中堂壁扉画 14面 附 九品来迎図(屏絵2面)	平安(天喜元) 江戸	平等院	昭和47	35
	彫刻	木造阿弥陀如来坐像 定朝作 1軀 附 木造阿弥陀種子曼荼羅 1面 木造蓮台 1基	平安	平等院	明治32	35
		木造天蓋 1具	平安		明治37	
		木造雲中供養菩薩像 52軀	平安			
	工芸品	梵鐘 1口	平安	平等院	大正3	35
		金銅鳳凰 1対	平安		昭和47	
重要文化財	建造物	平等院観音堂 1棟	鎌倉	平等院	昭和61	35
		浄土院養林庵書院 1棟	桃山	浄土院	昭和2	37
		宇治上神社摂社春日神社本殿 1棟	鎌倉	宇治上神社	明治45	33
		宇治神社本殿 1棟	鎌倉	宇治神社	明治35	31
		浮島十三重塔 1基	鎌倉(弘安9)	橋寺放生院	昭和28	38
		白山神社拝殿 1棟 附 棟札 2枚	鎌倉(建治3)	白山神社	明治43	45
		十八神社本殿 1棟 附 棟札 3枚 旧軒付板 1枚	室町(長享元)			

■新旧対照表

新 (巻末資料-3)

区分・種類	名称・数量	年 代	所有者	指定年度	番号
重要文化財	木造十一面観音立像 1 軀	平安	平等院	明治 33	35
	木造菟道稚郎子命坐像 1 軀	平安	宇治神社	明治 36	31
	木造地藏菩薩立像 1 軀	鎌倉	橋寺放生院	明治 44	27
	木造不動明王立像 1 軀	平安			
	木造伊邪那美尊坐像 1 軀	平安	白山神社	明治 42	45
	木造十一面観音立像 1 軀	平安			
	板彫両界曼荼羅 2 面	平安	地藏院	明治 42	44
	銅造阿閼如來立像 1 軀	平安			
	銅造阿彌陀如來及脇侍像 2 軀	奈良			
	銅造釈迦如來坐像 1 軀	平安			
	銅造大威徳明王像 1 軀	平安			
	木造観世音菩薩坐像 1 軀	平安			
	木造阿彌陀如來立像 1 軀	平安		明治 45	
	木造阿彌陀如來及両脇侍坐像 3 軀	平安	三室戸寺	明治 42	23
	木造釈迦如來立像 1 軀	平安			
	木造毘沙門天立像 1 軀	鎌倉	西導寺	明治 42	6
	木造薬師如來坐像 1 軀	平安		明治 43	
	木造毘沙門天立像 1 軀	平安	能化院	明治 43	4
	木造地藏菩薩坐像 1 軀	平安			
工芸品	鉄宝相華孔雀銅象嵌半古鍔 1 双 附 鉄舌長鍔 1 双	平安 鎌倉	許波多神社	平成 10	5
	梵鐘 1 口	鎌倉 (承元 4)	称名寺	昭和 51	50
書跡	宇治橋断碑 1 基	奈良 (大化 2)	橋寺放生院	昭和 40	27
	黄檗山木額 40 面 柱聯 44 対 榜牌 13 面 同 下書 14 幅	江戸	萬福寺	昭和 34	14
歴史資料	鉄眼版一切経版木 48,275 枚 附 大蔵経請去総牒 1 冊 宝蔵院縁起 1 冊	江戸	宝蔵院	昭和 32	7
重要無形文化財	木工芸	—	村山明	平成 15	—
史跡・名勝	平等院庭園 20,232.30 m ²	—	平等院ほか	大正 11	35
名勝	宇治山 約 25.7ha	—	宇治市ほか	平成 30	57
史跡	隼上り瓦窯跡 2,066.00 m ²	奈良	宇治市	昭和 61	19
	宇治川太閤堤跡 22,584.08 m ²	桃山		平成 21	26
	宇治古墳群 二子山古墳 二子塚古墳	古墳	宇治市	平成 30	29 56
重要文化的景観	宇治の文化的景観 228.5ha	—	宇治市	平成 20	52
選定保存技術	規矩術 (近世規矩)	—	持田武夫	平成 5	—

旧 (巻末資料-3)

区分・種類	名称・数量	年 代	所有者	指定年度	番号
重要文化財	木造十一面観音立像 1 軀	平安	平等院	明治 33	35
	木造菟道稚郎子命坐像 1 軀	平安	宇治神社	明治 36	31
	木造地藏菩薩立像 1 軀	鎌倉	橋寺放生院	明治 44	27
	木造不動明王立像 1 軀	平安			
	木造伊邪那美尊坐像 1 軀	平安	白山神社	明治 42	45
	木造十一面観音立像 1 軀	平安			
	板彫両界曼荼羅 2 面	平安	地藏院	明治 42	44
	銅造阿閼如來立像 1 軀	平安			
	銅造阿彌陀如來及脇侍像 2 軀	奈良			
	銅造釈迦如來坐像 1 軀	平安			
	銅造大威徳明王像 1 軀	平安			
	木造観世音菩薩坐像 1 軀	平安			
	木造阿彌陀如來立像 1 軀	平安		明治 45	
	木造阿彌陀如來及両脇侍坐像 3 軀	平安	三室戸寺	明治 42	23
	木造釈迦如來立像 1 軀	平安			
	木造毘沙門天立像 1 軀	鎌倉	西導寺	明治 42	6
	木造薬師如來坐像 1 軀	平安		明治 43	
	木造毘沙門天立像 1 軀	平安	能化院	明治 43	4
	木造地藏菩薩坐像 1 軀	平安			
工芸品	鉄宝相華孔雀銅象嵌半古鍔 1 双 附 鉄舌長鍔 1 双	平安 鎌倉	許波多神社	平成 10	5
	梵鐘 1 口	鎌倉 (承元 4)	称名寺	昭和 51	50
書跡	宇治橋断碑 1 基	奈良 (大化 2)	橋寺放生院	昭和 40	27
	黄檗山木額 40 面 柱聯 44 対 榜牌 13 面 同 下書 14 幅	江戸	萬福寺	昭和 34	14
歴史資料	鉄眼版一切経版木 48,275 枚 附 大蔵経請去総牒 1 冊 宝蔵院縁起 1 冊	江戸	宝蔵院	昭和 32	7
重要無形文化財	木工芸	—	村山明	平成 15	—
史跡・名勝	平等院庭園 20,232.30 m ²	—	平等院ほか	大正 11	35
史跡	隼上り瓦窯跡 2,066.00 m ²	奈良	宇治市	昭和 61	19
	宇治川太閤堤跡 22,584.08 m ²	桃山		平成 21	26
重要文化的景観	宇治の文化的景観 228.5ha	—	宇治市	平成 20	52
選定保存技術	規矩術 (近世規矩)	—	持田武夫	平成 5	—

■新旧対照表

新(巻末資料-4)

2. 京都府指定・登録文化財等一覧表

区分・種類	名称・数量	年代	所有者	指定年度	番号
有形文化財	萬壽院客殿 1棟 開山堂 1棟 2棟	江戸	萬壽院	昭和 58	10
	萬壽院庫裏 1棟 附 棟札 1枚 表門 1棟 2棟	江戸		平成 4	
	三室戸寺本堂 1棟	江戸	三室戸寺	平成 2	23
	三室戸寺三重塔 1基 附 旧鬼斗 1個 旧尾垂木 1個	江戸			
	三室戸寺旧本堂墓股	室町			
	天真院客殿 1棟 表門 1棟 経蔵 1棟 3棟	江戸	天真院	平成 4	12
	萬松院開山堂 1棟 附 表門 1棟	江戸	萬松院	平成 4	9
	龍興院開山堂 1棟	江戸	龍興院	平成 4	11
	宝蔵院開山塔 1棟	江戸	宝蔵院	平成 4	7
	獅子林院開山塔 1棟 附 土塀 1棟	江戸	獅子林院	平成 4	8
	恵心院本堂 1棟	江戸	恵心院	平成 25	39
	宇治神社末社春日社本殿 1棟	室町	宇治神社	平成 30	31
	清滝宮本殿(東) 1棟	江戸	清滝宮	平成 30	49
	清滝宮本殿(西) 1棟	江戸	清滝宮	平成 30	49
	下居神社本殿 1棟 附 棟札 7枚	江戸	下居神社	昭和 59	42
	旦椋神社本殿 1棟 附 棟札 7枚	江戸	旦椋神社	昭和 60	48
	三室戸寺阿弥陀堂 1棟 附 棟札 1枚 三室戸寺鐘楼 1棟 附 棟札 1枚	江戸	三室戸寺	平成 2	23
	木造男神坐像 1躯 木造女神坐像 1躯	鎌倉	許波多神社	昭和 61	5
	木造薬師如来坐像 1躯	鎌倉	妙光寺	昭和 62	24
	木造毘沙門天立像 1躯	鎌倉	正覚院	平成 14	1
	梵鐘 1口	南北朝(建武2)	地藏院	昭和 58	44
	金色院御堂再興勸進状 1卷 平等院修造勸進状 1卷	室町	地藏院	平成元	44
	平等院旧起 1卷 附 蒔絵黒漆塗箱 1合 平等院修造勸進状写 1卷 平等院旧起写 1卷	江戸	浄土院	平成元	37

旧(巻末資料-4)

2. 京都府指定・登録文化財等一覧表

区分・種類	名称・数量	年代	所有者	指定年度	番号
有形文化財	萬壽院客殿 1棟 開山堂 1棟 2棟	江戸	萬壽院	昭和 58	10
	萬壽院庫裏 1棟 附 棟札 1枚 表門 1棟 2棟	江戸		平成 4	
	三室戸寺本堂 1棟	江戸	三室戸寺	平成 2	23
	三室戸寺三重塔 1基 附 旧鬼斗 1個 旧尾垂木 1個	江戸			
	三室戸寺旧本堂墓股	室町			
	天真院客殿 1棟 表門 1棟 経蔵 1棟 3棟	江戸	天真院	平成 4	12
	萬松院開山堂 1棟 附 表門 1棟	江戸	萬松院	平成 4	9
	龍興院開山堂 1棟	江戸	龍興院	平成 4	11
	宝蔵院開山塔 1棟	江戸	宝蔵院	平成 4	7
	獅子林院開山塔 1棟 附 土塀 1棟	江戸	獅子林院	平成 4	8
	下居神社本殿 1棟 附 棟札 7枚	江戸	下居神社	昭和 59	42
	旦椋神社本殿 1棟 附 棟札 7枚	江戸	旦椋神社	昭和 60	48
	三室戸寺阿弥陀堂 1棟 附 棟札 1枚 三室戸寺鐘楼 1棟 附 棟札 1枚	江戸	三室戸寺	平成 2	23
	木造男神坐像 1躯 木造女神坐像 1躯	鎌倉	許波多神社	昭和 61	5
	木造薬師如来坐像 1躯	鎌倉	妙光寺	昭和 62	24
	木造毘沙門天立像 1躯	鎌倉	正覚院	平成 14	1
	梵鐘 1口	南北朝(建武2)	地藏院	昭和 58	44
	金色院御堂再興勸進状 1卷 平等院修造勸進状 1卷 平等院旧起 1卷 附 蒔絵黒漆塗箱 1合 平等院修造勸進状写 1卷 平等院旧起写 1卷	室町	地藏院	平成元	44
	二子山古墳出土品 一括	5世紀中 ～後	宇治市	平成 6	29
	白川金色院経塚遺物 一括	平安・室町		平成 21	46
	浮島十三重塔納置品 一括	平安～室町	橋寺放生院	平成 15	38

■新旧対照表

新 (巻末資料-5)

区分・種類	名称・数量	年 代	所有者	指定年度	番号
有形文化財	考古資料				
	二子山古墳出土品 一括	5世紀中 ～後	宇治市	平成 6	29
	白川金色院経塚遺物 一括	平安・室町		平成 21	46
	浮島十三重塔納置品 一括	平安～室町	橋寺放生院	平成 15	38
無形民俗文化財	宇治茶手もみ製茶技術	—	京都府宇治茶製法手もみ技術保存会	平成 20	—
史跡	萬福寺境内	江戸	萬福寺	昭和 60	14
名勝	興聖寺庭園及び琴坂 うち実測 2,121 m ²	江戸	興聖寺	昭和 61	36
	養林庵書院庭園 127 m ²	江戸	浄土院	昭和 63	37
	上林春松家庭園 うち実測 174.8 m ²	大正	上林春松	平成 29	53
	中村藤吉家庭園 うち実測 228.7 m ²	大正	中村藤吉	平成 29	54
文化財環境保全地区	下居神社文化財環境保全地区	—	下居神社	昭和 59	42
	興聖寺文化財環境保全地区	—	興聖寺	平成 7	36

旧 (巻末資料-5)

区分・種類	名称・数量	年 代	所有者	指定年度	番号
無形民俗文化財	宇治茶手もみ製茶技術	—	京都府宇治茶製法手もみ技術保存会	平成 20	—
史跡	萬福寺境内	江戸	萬福寺	昭和 60	14
名勝	興聖寺庭園及び琴坂 うち実測 2,121 m ²	江戸	興聖寺	昭和 61	36
	養林庵書院庭園 127 m ²	江戸	浄土院	昭和 63	37
文化財環境保全地区	下居神社文化財環境保全地区	—	下居神社	昭和 59	42
	興聖寺文化財環境保全地区	—	興聖寺	平成 7	36